

ELECOM

User's Manual

ユーザーズマニュアル

第4版 2021/7/1

対象ファームウェア：Ver.1.2.5以降

法人向け11ac小型無線アクセスポイント

WAB-S733MI



この度は、エレコムの無線アクセスポイントをお買い上げいただき誠にありがとうございます。

このマニュアルには本製品を使用するにあたっての詳細な設定方法が説明されています。

また、お客様が本製品を安全に扱っていただくための注意事項が記載されています。詳細な設定を行う場合は、必ずこのマニュアルをお読みになってください。

- 本製品の基本的な導入手順については、付属の「クイックセットアップガイド」などをお読みください。

もくじ

導入編	6
用語	7
このマニュアルで使われている用語	7
このマニュアルで使われている記号	7
このマニュアルをお読みになる前に	8
「クイックセットアップガイド」の主な内容	8
本製品の概要	9
設定画面について	10
セットアップ編	11
STEP1 電源を接続する	12
STEP2 各モードを設定する	13
アクセスポイントモードを利用する場合	13
子機モードを利用する場合	15
ルーターモードを利用する場合	20
設定リファレンス編	24
管理画面(設定画面)を表示する	26
各メニューについて	28
システム構成	28
無線設定	30
ツールボックス	31
システム構成	32
システム情報	32
動作モード	33
LAN側IPアドレス	34
LANポート	36
VLAN	38

WAN 設定	40
LAN 設定	43
固定 DHCP 設定	44
HTTP アクセス	46
SNMP アクセス	48
WAN ポート	50
DDNS	52
QoS	54
DMZ	56
ポートフォワーディング	57
LAN の設定	59
ログ	60
Syslog サーバー	61
無線設定	62
WPS	62
2.4GHz 11bgn / 5GHz 11ac 11an	64
基本設定	64
詳細設定	67
セキュリティ	70
クライアント	73
MAC フィルター	74
WMM	76
ワイヤレスモニター	78
詳細設定	79
無線 LAN	81
ツールボックス	82
管理者	82
日時	85
設定を保存 / 復元	86
初期化	88

ファームウェア更新	89
ファームウェア更新	89
ファームウェア確認	90
節電	92
再起動スケジュール	94
LED 設定	95
再起動	96

こんなときは 97

動作モードを切り替える	98
ログインID / パスワードを変更する	99
インターネットにつながらない	100
無線 LAN がつながらない	101
端末から WPS で本製品に接続できない	102
WPS を使っても接続できない	102
PIN コードで接続できない	102
IPv6 パススルー (ブリッジ) 機能を有効にする	103
ファームウェアを更新する	104
登録した無線子機のみアクセスを許可する	106
初期化する	109

付録編 110

安全上のご注意	111
使用上のご注意	114
このマニュアルについて	115
無線 LAN をご使用になるにあたってのご注意	116
動作環境	117
各部の名称とはたらき	118

製品の保証について	119
製品の保証とサービス	119
サポートサービスについて	120
基本仕様	121

導入編

用語	7
このマニュアルで使われている用語	7
このマニュアルで使われている記号	7
このマニュアルをお読みになる前に	8
「クイックセットアップガイド」の主な内容	8
本製品の概要	9
設定画面について	10

このマニュアルで使われている用語

このマニュアルでは、一部の表記を除いて以下の用語を使用しています。

用語	意味
本製品	無線 LAN アクセスポイント [WAB-S733MI] を称して「本製品」と表記しています。
11ac/11n/11g/ 11b/11a	IEEE802.11ac 規格を「11ac」、IEEE802.11n (2.4G/5G) 規格を「11n」、IEEE802.11g 規格を「11g」、IEEE802.11b 規格を「11b」、IEEE802.11a 規格を「11a」と省略して表記している場合があります。
11bgn	11n (2.4GHz 帯) /11g/11b の略です。
11an/ac	11a/11n (5GHz 帯) /11ac の略です。
無線 AP	無線 LAN アクセスポイントを略して「無線 AP」と表記しています。
無線親機	無線 LAN ルーター、無線 AP を総称して「無線親機」と表記しています。
無線 LAN 子機	無線 LAN 機能を内蔵したパソコン、無線アダプターを取り付けたパソコン、無線コンバーターを接続した機器などを総称して「無線 LAN 子機」と表記しています。また、無線アダプター、無線コンバーターそのものを「無線 LAN 子機」として表記している場合があります。

このマニュアルで使われている記号

記号	意味
重要	作業上および操作上で特に注意していただきたいことを説明しています。この注意事項を守らないと、故障の原因になることがあります。注意してください。
MEMO	説明の補足事項や知っておくと便利なことを説明しています。

このマニュアルをお読みになる前に

本製品には、印刷物で「クイックセットアップガイド」が付属しています。
クイックセットアップガイドには、以下の内容が記載されています。

該当する内容がありましたら、そちらをお読みください。

※ マニュアルの改訂により、内容の一部が変更される場合があります。

「クイックセットアップガイド」の主な内容

- 各部の名称とはたらき
- 主な仕様と工場出荷時の設定値
- 各モードでのセットアップ方法

MEMO

印刷物のマニュアルが見当たらない場合には

エレコム・ホームページより、最新のPDF版をダウンロードすることができます。

本製品の概要

- 無線子機モードを搭載し、プリンター複合機やPOS端末・FA機器などの有線ポートしか搭載しない機器でも簡単に無線接続化できる、法人向け11ac小型無線アクセスポイントです。
- アクセスポイント・ルーターモードでの11acおよび2.4/5GHz同時通信に対応し、幅広い端末との通信が可能です。
- 小型軽量(約90g)で設置場所を選ばず、ホテルの部屋やオフィスの会議室などで既に有線LANが引かれている場所へ簡単設置。手間なくWi-Fi環境構築ができます。
- 接続機器同士の接続を禁止する無線セパレーター機能にも対応し、ホテル導入時のセキュリティも確保します。
- 様々な設置に対応すべく特殊ネジや両面テープを標準添付。ホテルでの盗難・イタズラ防止や機器への直接取り付けにも対応します。
- 2次元バーコードでSSIDとパスワードが簡単にわかる「SSID情報シール」が付属。スムーズな初期設定をサポートします。
- 1台の無線アクセスポイントで2.4/5GHzで各最大5個のSSIDを管理する「マルチSSID」に対応し、様々なセキュリティーポリシーを1台で実現するため、SSIDごとに認証および暗号方式を設定できます。
- 一括で無線アクセスポイントの設定変更や稼働状況の確認が可能な専用管理ソフトウェア「WAB-MAT」に対応。
管理工数の大幅な削減に貢献します。
※ 本体ファームウェアVer.1.0.0以降：アクセスポイントモードのみ対応
- 位置に工夫を凝らした内蔵アンテナ採用により、壁面設置の際にアンテナが邪魔にならず、通信距離にも影響を及ぼしにくい構造です。また、アンテナ外付けタイプと比べ、アンテナ破損による通信障害も防止します。
- 企業での使用に安心の長期3年保証。またオプションで延長やデリバリーの保守もご用意しています。

設定画面について

本製品の各種設定をするために、Web ブラウザーから利用できる設定画面があります。

表示方法

- 1 本製品に接続しているモバイル機器やPCのIPアドレスを以下に固定します。

IPアドレス：192.168.3.xxx

xxxは、2～254までの任意の数字にします。

- 2 本製品に接続しているモバイル機器やPCのブラウザーを開き、以下のWeb ページを表示します。

<http://192.168.3.1/>



認証画面が表示された場合は、以下のようにユーザー名とパスワードを入力し、「OK」を選択します。

初期設定のユーザー名	admin
初期設定のパスワード	admin

- ご利用のブラウザー（Chrome など）のバージョンによっては「保護されていない」などの警告が表示される場合がありますが、セキュリティ上問題ありません。そのまま操作を続けてください。
- 各ボタンの詳しい内容や設定方法については、「設定リファレンス」をお読みください。→24 ページ
- モード変更後に設定ユーティリティにアクセスしたい場合は、本製品にお使いのパソコンだけを接続した状態で電源を ON にし、お使いのパソコンの IP アドレスを「192.168.3.xxx」（xxx は任意の数字）に固定してアクセスしてください。

※アクセスポイントモードで利用中の本製品に別のルーターを接続すると、IP アドレスが変わる場合があります。本製品からルーターを外して電源を入れ直すと、IP アドレスは「192.168.3.1」に戻ります。

パソコンの IP アドレスを固定する方法は下記の URL を参照してください。

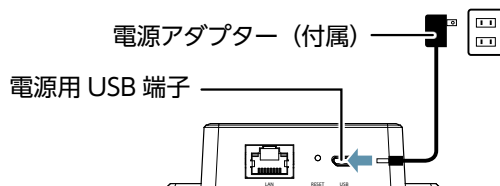
http://qa.elecom.co.jp/faq_detail.html?id=6014

セットアップ編

STEP1 電源を接続する	12
STEP2 各モードを設定する	13
アクセスポイントモードを利用する場合	13
子機モードを利用する場合	15
ルーターモードを利用する場合	20

STEP1 電源を接続する

本製品と付属のACアダプターを接続します。



●この時点では、まだネットワークに接続しないでください。

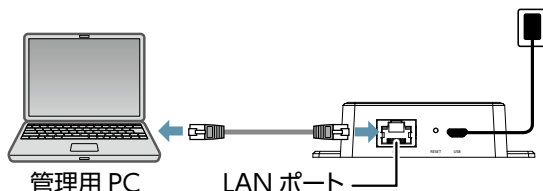
本製品をご利用になる動作モードによって設定手順が異なります。
また、設定を始める前に事前に必要な情報を準備してください。

モード	用途	
アクセスポイントモード (初期値)	本製品を無線親機としてパソコンなどの子機を無線で接続できます。 【設定に必要な情報】 本製品の SSID とセキュリティキー。 初期値は本製品付属の SSID 情報シールに記載しています。	→ 13 ページ
子機モード	無線通信機能がない複合機やパソコン、テレビなどを無線化したい場合に使用します。本製品と子機は LAN ケーブルで接続します。 【設定に必要な情報】 親機となるアクセスポイントの情報 ・無線帯域 ・SSID 名 ・暗号化キー (セキュリティキー)	→ 15 ページ
ルーターモード	モデム等と接続しインターネット環境を構築することができます。 【設定に必要な情報】 WAN 設定の回線情報 < DHCP の場合 > DNS アドレス (入力が必要な場合) < PPPoE 接続の場合 > 接続するプロバイダーの ID (ユーザー名) / パスワード < 静的 IP アドレスの場合 > 固定する IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNS アドレスの値	→ 20 ページ

STEP2 各モードを設定する

アクセスポイントモードを利用する場合

- 1 本製品と管理用パソコンをLAN ケーブルで接続します。



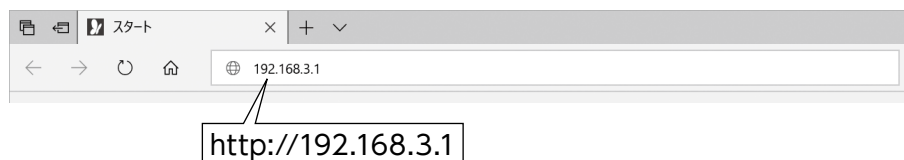
- 2 管理用パソコンのIPアドレスを以下に固定します。

IPアドレス：192.168.3.xxx

xxxは、2～254までの任意の数字にします。

- 3 管理用のパソコンでWebブラウザー※を起動し、以下のページを表示します。

※Safari、Chrome、Microsoft Edge、Internet Explorerなど



4 ログイン画面が表示されたら、初期設定のユーザー名とパスワードを入力し、「OK」ボタンをクリックします。

初期設定ユーザー名：admin

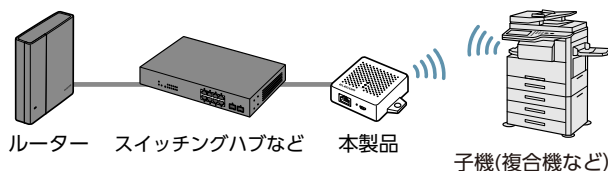
初期設定パスワード：admin

重要

初期設定のパスワードは非常に脆弱なものです。
ログイン後、パスワードは必ず初期設定のものから変更してください。
パスワードの変更方法は99ページを参照ください。

5 設定終了後は、以下のイラストを参考に本製品とスイッチングハブなどをLANケーブルで接続します。

インターネット接続が可能なルーターなどを上位側に設置してください。

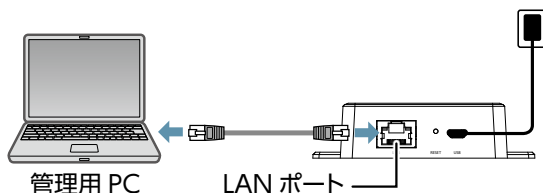


6 子機を操作し、本製品にWi-Fi接続します。

本製品のSSIDとセキュリティキーは本製品の裏面に貼ってある「SSID 情報ラベル」または「付属のSSID 情報シール」をご確認ください。

子機モードを利用する場合

- 1 本製品と管理用パソコンをLAN ケーブルで接続します。



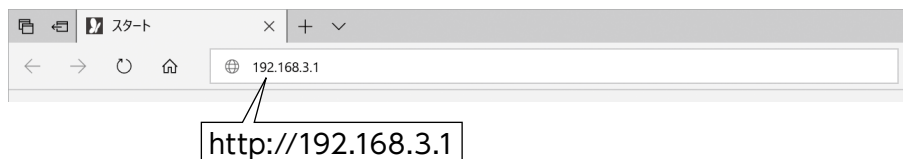
- 2 管理用パソコンのIPアドレスを以下に固定します。

IPアドレス : 192.168.3.xxx

xxxは、2～254までの任意の数字にします。

- 3 管理用のパソコンでWebブラウザ※を起動し、以下のページを表示します。

※Safari、Chrome、Microsoft Edge、Internet Explorerなど



4 ログイン画面が表示されたら、初期設定のユーザー名とパスワードを入力し、「OK」ボタンをクリックします。

初期設定ユーザー名：admin

初期設定パスワード：admin

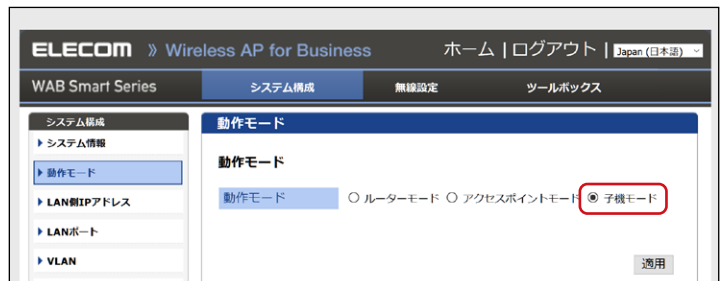
重要

初期設定のパスワードは非常に脆弱なものです。
ログイン後、パスワードは必ず初期設定のものから変更してください。
パスワードの変更方法は99ページを参照ください。

5 設定画面が表示されますので、「システム構成」－「動作モード」をクリックします。



6 「動作モード」画面が表示されますので、「子機モード」を選択し、「適用」をクリックします。



7 確認ダイアログボックスが表示されますので、 「OK」をクリックします。

設定後、カウントダウンが始まります。
カウントダウンが終わり、再起動されるまでお待ちください。

8 本製品が再起動したら、 設定画面が再度表示されます。

※設定画面が表示されない場合は、再度以下のページを表示してください。

<http://192.168.3.1>

ログイン画面が表示されたら、初期設定または変更したユーザー名とパスワードを入力し、「OK」ボタンをクリックします。

9 設定画面から親機を検索します。

- ① 設定画面から「無線設定」をクリックします。
- ② 「検索」をクリックします。



MEMO

「検索」をクリックした後、周囲のSSIDを検索できるまで数十秒かかる場合があります。

- 10** 周囲のSSIDが一覧で表示されますので、
接続する親機のSSIDにチェックを入れ、「適用」をクリックします。

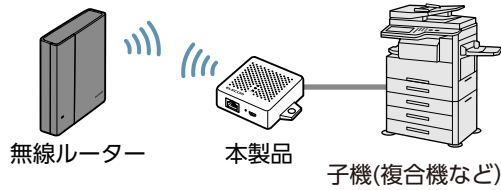


- 11** 選択した親機のSSIDが表示されていることを確認し、
親機の「暗号化キー」を入力し「適用」をクリックします。



- 選択した親機のSSIDが暗号化なしの場合は、暗号化キーの設定項目は表示されません。そのまま「適用」をクリックします。
- 本製品の再起動が完了後に接続した親機の帯域のLEDが点灯または点滅していれば親機との接続は完了です。

- 12** 以下のイラストを参考に本製品のLANポートと有線機器を接続します。



ルーターモードを利用する場合

1 管理用パソコンの無線LANのIPアドレスを以下に固定します。

IPアドレス：192.168.3.xxx

xxxは、2～254までの任意の数字にします。

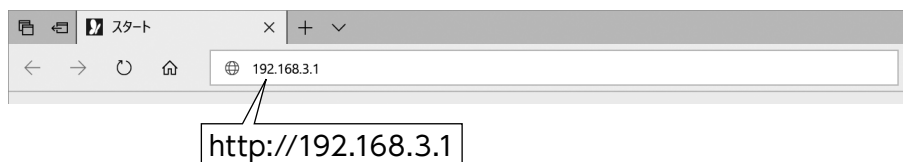
2 管理用パソコンの無線LANから本製品のSSIDに接続します。



- 本製品のSSIDとセキュリティキーは本製品の裏面に貼ってある「SSID 情報ラベル」または「付属のSSID 情報シール」をご確認ください。
- 接続後、「インターネットアクセスなし」と表示されますが問題ありません。

3 管理用のパソコンでWebブラウザ[※]を起動し、以下のページを表示します。

※ Safari、Chrome、Microsoft Edge、Internet Explorer など



4 ログイン画面が表示されたら、初期設定のユーザー名とパスワードを入力し、「OK」ボタンをクリックします。

初期設定ユーザー名：admin

初期設定パスワード：admin

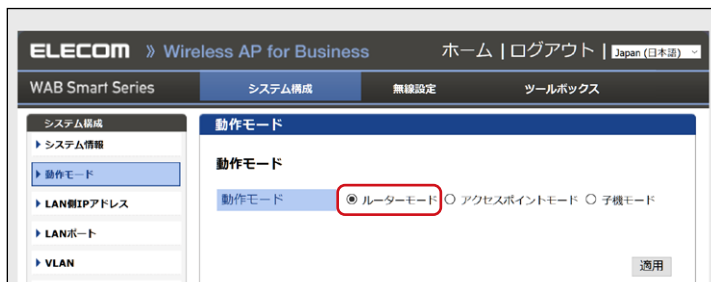
重要

初期設定のパスワードは非常に脆弱なものです。
ログイン後、パスワードは必ず初期設定のものから変更してください。
パスワードの変更方法は99ページを参照ください。

5 設定画面が表示されますので、「システム構成」－「動作モード」をクリックします。



6 「動作モード」画面が表示されますので、「ルーターモード」を選択し、「適用」をクリックします。



- 7** 確認ダイアログボックスが表示されますので、
「OK」をクリックします。

設定後、カウントダウンが始まります。
カウントダウンが終わり、再起動されるまでお待ちください。

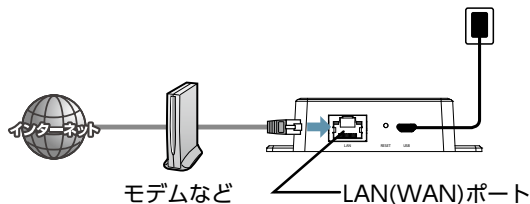
- 8** 本製品が再起動したら、
設定画面が再度表示されます。

※設定画面が表示されない場合は、再度以下のページを表示してください。

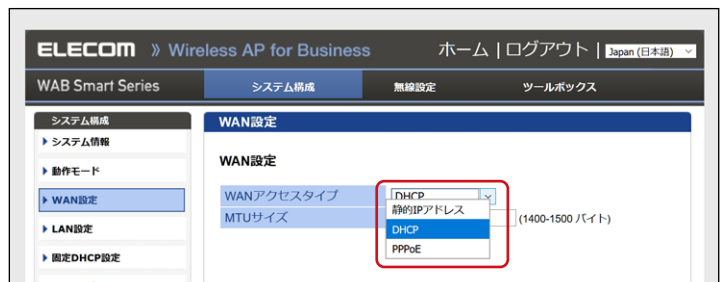
<http://192.168.3.1>

ログイン画面が表示されたら、初期設定または変更したユーザー名とパスワードを入力し、「OK」ボタンをクリックします。

- 9** 再度ログインできたことを確認後、本製品のLAN(WAN)ポート
とWAN側の機器をLANケーブルで接続します。



- 10** 配線後、設定画面の「システム構成」－「WAN設定」をクリックし
「WANアクセスタイプ」を選択します。

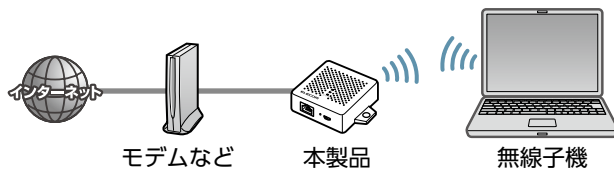


11 選択したWANアクセスタイプによって必要な情報を入力し、「適用」をクリックします。

※ WANアクセスタイプが「DHCP」の場合でその他の設定値の変更が不要な場合は **12** に進んでください。

12 本製品の再起動が完了したら、パソコンなどの無線子機を操作し、本製品にWi-Fi接続します。

本製品のSSIDとセキュリティキーは本製品の裏面に貼ってある「SSID 情報シール」または「設定情報シート (初期値)」をご確認ください。



設定リファレンス編

管理画面 (設定画面) を表示する	26
各メニューについて	28
システム構成	28
無線設定	30
ツールボックス	31
システム構成	32
システム情報	32
動作モード	33
LAN側IPアドレス	34
LANポート	36
VLAN	38
WAN設定	40
LAN設定	43
固定DHCP設定	44
HTTPアクセス	46
SNMPアクセス	48
WANポート	50
DDNS	52
QoS	54
DMZ	56
ポートフォワーディング	57
LANの設定	59
ログ	60
Syslogサーバー	61

無線設定	62
WPS	62
2.4GHz 11bgn / 5GHz 11ac 11an	64
基本設定	64
詳細設定	67
セキュリティ	70
クライアント	73
MAC フィルター	74
WMM	76
ワイヤレスモニター	78
詳細設定	79
無線 LAN	81
ツールボックス	82
管理者	82
日時	85
設定を保存/復元	86
初期化	88
ファームウェア更新	89
ファームウェア更新	89
ファームウェア確認	90
節電	92
再起動スケジュール	94
LED 設定	95
再起動	96

管理画面(設定画面)を表示する

本製品の各種設定をするために、Webブラウザから利用できる設定画面があります。

各ボタンの詳しい内容や設定方法については、該当ページをお読みください。

1 本製品に接続しているモバイル機器やPCのIPアドレスを以下に固定します。

IPアドレス：192.168.3.xxx

xxxは、2～254までの任意の数字にします。

2 本製品に接続しているモバイル機器やPCのブラウザを開き、以下のWebページを表示します。

<http://192.168.3.1/>



認証画面が表示された場合は、以下のようにユーザー名とパスワードを入力し、「OK」を選択します。

初期設定のユーザー名	admin
初期設定のパスワード	admin

- ご利用のブラウザ（Chromeなど）のバージョンによっては「保護されていない」などの警告が表示される場合がありますが、セキュリティ上問題ありません。そのまま操作を続けてください。
- モード変更後に設定画面にアクセスしたい場合は、本製品にお使いのパソコンだけを接続した状態で電源をONにし、お使いのパソコンのIPアドレスを「192.168.3.xxx」（xxxは任意の数字）に固定してアクセスしてください。
※アクセスポイントモードで利用中の本製品に別のルーターを接続すると、IPアドレスが変わる場合があります。本製品からルーターを外して電源を入れ直すと、IPアドレスは「192.168.3.1」に戻ります。

パソコンのIPアドレスを固定する方法は下記のURLを参照してください。

http://qa.elecom.co.jp/faq_detail.html?id=6014

設定画面が表示されます。



重要

設定を変更した場合は、必ず「適用」をクリックして設定を保存してください。「適用」をクリックせずに他の画面に移動すると、設定が変更されません。

各メニューについて

■ システム構成

メニュー項目	内容	各モード時の表示		
		アクセス ポイント	子機	ルーター
システム情報	本製品の IP アドレスや本製品のシステム情報などを表示します。 → 32 ページ	○	○	○
動作モード	ルーターモード/アクセスポイントモード/子機モードを切り替えます。 → 33 ページ	○	○	○
LAN 側 IP アドレス	LAN 側の IP アドレス、DNS サーバーの設定を行います。 → 34 ページ	○	—	—
LAN ポート	有線 LAN ポートの設定を行います。 → 36 ページ	○	—	—
VLAN	インターフェイス VLAN の設定を行います。 → 38 ページ	○	—	—
WAN 設定	WAN 側の設定を行います。 → 40 ページ	—	—	○
LAN 設定	LAN 側の設定を行います。 → 43 ページ	—	—	○
固定 DHCP 設定	特定の端末に固有の IP アドレスを設定できます。 → 44 ページ	—	—	○
HTTP アクセス	WAN 側からの HTTP アクセスを許可するかどうかを設定できます。 → 46 ページ	—	—	○
SNMP アクセス	WAN 側からの SNMP アクセスを許可するかどうかの設定を行います。 → 48 ページ	—	—	○
WAN ポート	有線 WAN ポートの設定を行います。 → 50 ページ	—	—	○

メニュー項目	内容	各モード時の表示		
		アクセス ポイント	子機	ルーター
DDNS	DDNS の設定を行います。 → 52 ページ	—	—	○
QoS	QoS の設定を行います。 → 54 ページ	—	—	○
DMZ	指定した端末に WAN 側からアクセスできるように設定することができます。 → 56 ページ	—	—	○
ポートフォワーディング	ポート転送の設定をします。 → 57 ページ	—	—	○
LAN の設定	子機モード時に LAN の設定を行います。 → 59 ページ	—	○	—
ログ	システムログを表示します。 → 60 ページ	○	○	○
Syslog サーバー	Syslog サーバーの設定を行います。 → 61 ページ	○	—	○

■ 無線設定

メニュー項目	内容	各モード時の表示		
		アクセス ポイント	子機	ルーター
WPS	WPS 機能による接続ができます。 → 62 ページ	○	—	○
2.4 / 5GHz	2.4GHzおよび5GHzの無線設定を行います。 → 64 ページ	○	—	○
WMM	QoS や WMM-EDCA の設定を行います。 → 76 ページ	○	—	○
ワイヤレスモニター	本製品に接続している無線子機を表示します。 本製品に接続する機器を MAC アドレスによってフィルタリングすることもできます。 → 78 ページ	○	—	○
無線 LAN	接続する親機を選択します。 → 81 ページ	—	○	—

■ ツールボックス

メニュー項目	内容	各モード時の表示		
		アクセス ポイント	子機	ルーター
管理者	本製品の設定画面にログインするためのアカウントや本製品の詳細設定について設定します。 → 82 ページ	○	○	○
日時	本製品の内部時計を設定します。日付と時刻、NTP サーバー、タイムゾーンを設定できます。 → 85 ページ	○	○	○
設定を保存／復元	設定内容を復元したり、バックアップすることができます。 → 86 ページ	○	○	○
初期化	工場出荷時の状態に戻します。 → 88 ページ	○	○	○
ファームウェア更新	ファームウェアを更新することができます。 → 89 ページ	○	○	○
節電	節電機能を有効にすることができます。 → 92 ページ	○	○	○
再起動スケジュール	再起動スケジュールを設定することができます。 → 94 ページ	○	○	○
LED 設定	本体 LED ランプのオン／オフを設定します。 → 95 ページ	○	○	○
再起動	本製品を再起動します。 → 96 ページ	○	○	○

システム構成

システム情報

アクセスポイントモード

ルーターモード

子機モード

本製品の IP アドレスや本製品に接続している機器の情報などを表示します。

ELECOM » Wireless AP for Business

ホーム | ログアウト | Japan (日本語)

WAB Smart Series

システム構成

無線設定

ツールボックス

システム構成

システム情報

動作モード

LAN側IPアドレス

LANポート

VLAN

ログ

Syslogサーバー

動作モード

アクセスポイントモード

システム情報

システム

モデル

製品名

起動時設定ファイル

Boot Loader Version

バージョン

MACアドレス

管理用VLAN ID

IPアドレス

デフォルトゲートウェイ

DNS

DHCPサーバー

有線LANポート

ステータス

VLANモード / ID

無線 2.4GHz 11b/g/n

ステータス

MACアドレス

チャンネル

送信出力

無線 5GHz 11ac/n/a

ステータス

MACアドレス

チャンネル

送信出力

更新

IPアドレスをDHCPで自動取得している場合は、IPアドレスを再取得します。

SSID	認証方法	暗号化タイプ	VLAN ID	追加認証	セパレーター機能
elecom2g01-0ee02b	WPA2-PSK	AES	1	追加認証なし	無効

SSID	認証方法	暗号化タイプ	VLAN ID	追加認証	セパレーター機能
elecom5g01-0ee02c	WPA2-PSK	AES	1	追加認証なし	無効

項目	内容
システム	本製品に関する情報を表示します。モードによって表示は異なります。
無線 2.4GHz 11b/g/n	本製品の 2.4GHz に関する状態と 2.4GHz 帯に接続している機器を表示します。
無線 5GHz 11ac/n/a	本製品の 5GHz に関する状態と 5GHz 帯に接続している機器を表示します。

動作モード

[アクセスポイントモード](#)
[ルーターモード](#)
[子機モード](#)

ルーターモード／アクセスポイントモード／子機モードを切り替えます。

The screenshot shows the ELECOM Wireless AP for Business web interface. The top navigation bar includes 'ELECOM', 'Wireless AP for Business', and a language dropdown set to 'Japan (日本語)'. Below this is a secondary navigation bar with 'WAB Smart Series', 'システム構成' (System Configuration), '無線設定' (Wireless Settings), and 'ツールボックス' (Toolbox). The left sidebar lists various system configuration options, with '動作モード' (Action Mode) selected. The main content area is titled '動作モード' and shows three radio button options: 'ルーターモード' (selected), 'アクセスポイントモード', and '子機モード'. A '適用' (Apply) button is located to the right of the options.

項目	内容	
動作モード	動作モードを切り替えます。 「適用」をクリックすると、本製品が再起動し、モードが切り替わります。	
	アクセスポイントモード	本製品を無線親機としてパソコンなどの子機を無線で接続できます。
	子機モード	無線通信機能がない複合機やパソコン、テレビなどを無線化したい場合に使用します。本製品と子機は LAN ケーブルで接続します。
	ルーターモード	モデム等と接続しインターネット環境を構築することができます。

LAN 側 IP アドレス

アクセスポイントモード

有線 LAN の IP アドレスの割り当てなどについて設定します。

ELECOM » Wireless AP for Business ホーム | ログアウト | Japan (日本語) ▼

WAB Smart Series システム構成 無線設定 ツールボックス

システム構成

- システム情報
- 動作モード
- LAN側IPアドレス**
- LANポート
- VLAN
- ログ
- Syslogサーバー
- 動作モード
- アクセスポイントモード

LAN側IPアドレス

LAN側IPアドレス

IPアドレス割り当て: DHCPクライアント ▼

IPアドレス: 192.168.3.1

サブネットマスク: 255.255.255.0

デフォルトゲートウェイ: DHCP ▼

DNSサーバー

プライマリアドレス: DHCP ▼

セカンダリアドレス: DHCP ▼

DNSプロキシ

DNSプロキシ: ☐ 有効 ☒ 無効

適用 キャンセル

項目	内容	
LAN 側 IP アドレス	IP アドレス割り当て	IP アドレスの割り当て方法を次の中から選択します。 (初期値：DHCP クライアント)
		DHCP クライアント DHCP サーバーから IP アドレスやサブネットマスクなどの必要な情報を自動的に割り当てます。
		静的 IP アドレス IP アドレスやサブネットマスクを手動で設定します。
	IP アドレス	「IP アドレスの割り当て」の設定を「静的 IP アドレス」とした場合は静的 IP アドレスを設定します。 (初期値：192.168.3.1) 「IP アドレスの割り当て」の設定を「DHCP クライアント」とした場合は、取得した IP アドレスが表示されます。
サブネットマスク	「IP アドレスの割り当て」の設定を「静的 IP アドレス」とした場合はサブネットマスクを設定します。 (初期値：255.255.255.0) 「IP アドレスの割り当て」の設定を「DHCP クライアント」とした場合は、取得したサブネットマスクが表示されます。	

項目	内容				
DNS サーバー	プライマリアドレス	DNS サーバーのプライマリアドレスの割り当て方法を次の中から選択します。(初期値：DHCP)			
		<table><tr><td>DHCP クライアント</td><td>DHCP サーバーから DNS サーバーのプライマリアドレスを自動的に割り当てます。</td></tr><tr><td>ユーザー定義</td><td>DNS サーバーのプライマリアドレスを手動で設定します。(初期値：空欄)</td></tr></table>	DHCP クライアント	DHCP サーバーから DNS サーバーのプライマリアドレスを自動的に割り当てます。	ユーザー定義
	DHCP クライアント	DHCP サーバーから DNS サーバーのプライマリアドレスを自動的に割り当てます。			
ユーザー定義	DNS サーバーのプライマリアドレスを手動で設定します。(初期値：空欄)				
セカンダリアドレス	セカンダリ DNS サーバーの IP アドレスを設定します。 ([「プライマリアドレス」を「ユーザー定義」に設定した場合]) (初期値：空欄)				
DNS プロキシ	DNS プロキシ	DNS プロキシ機能の設定を行います。(初期値:無効) 有効の場合、本製品の LAN 側アドレスを接続しているクライアントの DNS サーバーとして設定可能になります。			

LANポート

アクセスポイントモード

本製品の LAN ポートについて設定します。

The screenshot shows the configuration page for the LAN Port in the ELECOM Wireless AP for Business interface. The page is titled "LANポート" and contains a section for "有線LANポートの設定" (Wired LAN Port Settings). The settings are as follows:

有線LANポート	有効	速度と通信方式	MDI	フロー制御	802.3az
有線ポート	有効	自動	自動	有効	有効

Buttons: 適用 (Apply), キャンセル (Cancel)

項目	内容	
有線 LAN ポートの設定	有効	無効に設定すると、LAN ポートでの通信ができなくなります。
	速度と通信方式	イーサネットの通信速度と通信方式を次の中から選択します。(初期値：自動)
		自動 自動的に接続先の機器とのネゴシエーションを行い、適切な通信速度の設定が設定されます。 通常は、「自動」を選択してください。 接続先の機器を自動的に判別できない場合は、他の設定を選択してください。
		10Mbps 半二重通信方式 10BASE-T、半二重 (Half Duplex) 通信方式で通信します。
		10Mbps 全二重通信方式 10BASE-T、全二重 (Full Duplex) 通信方式で通信します。
		100Mbps 半二重通信方式 100BASE-TX、半二重 (Half Duplex) 通信方式で通信します。
		100Mbps 全二重通信方式 100BASE-TX、全二重 (Full Duplex) 通信方式で通信します。

項目	内容	
有線 LAN ポートの設定	MDI	接続先の機器のポートの種類です。 この項目は「自動」のみ選択できます。
	フロー制御	フロー制御の「有効」または「無効」を設定します。 (初期値：有効) 「有効」に設定すると、受信側のバッファがあふれ、データの取りこぼし（オーバーフロー）を検出したときに、通信を制御します。
	802.3az	IEEE802.3az の「有効」または「無効」を設定します。 (初期値：有効) 「有効」に設定すると、データの送受信がない待機状態のときに、Ether ポートへの電源供給を止めることで消費電力を減らします。 接続先の機器も IEEE802.3az に対応している必要があります。

VLAN

アクセスポイントモード

LAN ポートおよび無線の VLAN について設定します。

The screenshot shows the configuration page for the ELECOM Wireless AP for Business. The left sidebar contains a menu with options like システム構成, システム情報, 動作モード, LAN側IPアドレス, LANポート, VLAN (selected), ログ, and Syslogサーバー. The main content area is titled 'VLAN' and contains two sections: 'インターフェイスVLAN' and '管理用VLAN'. The 'インターフェイスVLAN' section has a table with columns for '有線LANポート', 'VLANモード', and 'VLAN ID'. It lists settings for '有線ポート' (tagged) and '無線' (2.4GHz and 5GHz) (tagged). The '管理用VLAN' section has a single row for 'VLAN ID' with a value of 1. A '適用' button is at the bottom right.

有線LANポート	VLANモード	VLAN ID
有線ポート	タグなしポート	1
無線 2.4GHz	VLANモード	VLAN ID
SSID [elecom2g01-0ee02b]	タグなしポート	1
無線 5GHz	VLANモード	VLAN ID
SSID [elecom5g01-0ee02c]	タグなしポート	1

管理用VLAN

VLAN ID
1

適用

項目	内容				
インターフェイス VLAN	VLAN モード	VLAN の設定をします。 (初期値：タグなしポート)			
		<table><tr><td>タグなしポート</td><td>Ether ポートをタグなしのポートとして設定します。 設定した VLAN ID のフレームのみがこのポートへ転送されます。</td></tr><tr><td>タグ付きポート</td><td>Ether ポートをタグ付きのポートとして設定します。 ポートで送受信するすべてのフレームに IEEE802.1Q 準拠の VLAN タグが付与されます。 受信したフレームをすべて転送することができます。</td></tr></table>	タグなしポート	Ether ポートをタグなしのポートとして設定します。 設定した VLAN ID のフレームのみがこのポートへ転送されます。	タグ付きポート
	タグなしポート	Ether ポートをタグなしのポートとして設定します。 設定した VLAN ID のフレームのみがこのポートへ転送されます。			
タグ付きポート	Ether ポートをタグ付きのポートとして設定します。 ポートで送受信するすべてのフレームに IEEE802.1Q 準拠の VLAN タグが付与されます。 受信したフレームをすべて転送することができます。				
VLAN ID	「VLAN モード」で「タグなしポート」を選択した場合に、インターフェイス VLAN に関連づける VLAN のネットワーク ID を 1 ～ 4094 の範囲で入力します。 (初期値：1) VLAN ID が異なる Ether ポートやネットワークと通信することはできません。				
管理用 VLAN	VLAN ID	管理用 VLAN のネットワーク ID を 1 ～ 4094 の範囲で入力します。(初期値：1)			

MEMO

- 有線LANから管理用VLANへのアクセスできるようにするために、VLANの設定を次のいずれかの条件に適合させてください。
 - ・ いずれかのEtherポートがタグ付きポート
 - ・ 両方のEtherポートがタグなしポートの場合は、いずれかのポートのVLAN ID が管理VLAN IDと同じ

重要

VLAN 設定を変更した場合は、操作が中断されることがあります。

WAN 設定

ルーターモード

WAN（インターネット）側の設定を行います。

ELECOM » Wireless AP for Business ホーム | ログアウト | Japan (日本語) ▼

WAB Smart Series システム構成 無線設定 ツールボックス

システム構成

- システム情報
- 動作モード
- WAN設定**
- LAN設定
- 固定DHCP設定
- HTTPアクセス
- SNMP アクセス
- WANポート
- DDNS
- QoS
- DHZ
- ポートフォワーディング
- ログ
- Syslogサーバー

動作モード
ルーターモード

WAN設定

WAN設定

WANアクセスタイプ: DHCP ▼
MTUサイズ: 1500 (1400-1500 バイト)

DNSサーバー

DNSサーバーアドレス: ☒ 自動取得 ☐ 手動
DNS1:
DNS2:

DNSプロキシ

DNSプロキシ: ☐ 有効 ☒ 無効

その他

MACアドレスコピー: Copy (接続中のPCからMACアドレスをコピー)
☐ 有効 ☒ 無効
UPnP: ☐ 有効 ☒ 無効
IPv6 (スループット): ☐ 有効 ☒ 無効
WAN側からのPingに対する応答: ☐ 有効 ☒ 無効

適用 キャンセル

項目	内容
WAN 設定	WAN アクセスタイプ WAN（インターネット）側の設定をおこないます。DHCP/PPPoE/ 静的 IP アドレスを選択するかで、設定画面が異なります。 ● 「DHCP」を選択した場合
	MTU サイズ MTU = Maximum Transmission Unit 1 回の転送で送信できるデータの最大値 (単位バイト) を設定します。通常は変更する必要はありません。 (初期値: 1500 バイト)

項目	内容	
WAN 設定	● 「静的 IP アドレス」 を選択した場合	
	IP アドレス	プロバイダーから提供された情報を入力します。
	サブネットマスク	
	デフォルトゲートウェイ	
	MTU サイズ	MTU = Maximum Transmission Unit 1 回の転送で送信できるデータの最大値 (単位バイト) を設定します。通常は変更する必要はありません。 (初期値: 1500 バイト)
	● 「PPPoE」 を選択した場合	
	ユーザー名	プロバイダーから提供されたユーザー名を入力します。 (最大 57 文字) ユーザー ID に「@」がある場合、ユーザー名のあとに、「@」 とご契約のプロバイダーの識別子を入力する必要があります。 (例) <u>userID123@elecom.net</u> ユーザー名 プロバイダー識別子
	パスワード	プロバイダーから提供されたパスワードを入力します。 (最大 57 文字)
	MTU サイズ	MTU = Maximum Transmission Unit 1 回の転送で送信できるデータの最大値 (単位バイト) を設定します。通常は変更する必要はありません。 (初期値: 1454 バイト)
	※ ユーザー名およびパスワードには、以下の文字を使用できます。 [a ~ z]、[A ~ Z]、[0 ~ 9]、[] (スペース)、[.]、[_] (アンダースコア)、[@]、[\$]、[:]、[*]、[#]、[%]、[/]、[-]、[+]、[!]、[=] (すべて半角文字)	
DNS サーバー	DNS サーバーアドレス (PPPoE、DHCP のみ)	プロバイダーより自動的に DNS サーバーのアドレスを取得する場合に「自動取得」を選択します。プロバイダーより指定がある場合は「手動」を選択します。
	DNS1	プロバイダーから DNS アドレスの指示が 1 個の場合は、こちらにだけ入力します。プロバイダーから DNS アドレスの指示が 2 個の場合は、プライマリの DNS アドレスを入力します。
	DNS2	プロバイダーから DNS アドレスの指示が 2 個の場合は、セカンダリの DNS アドレスを入力します。
DNS プロキシ	DNS プロキシ	DNS プロキシ機能の設定を行います。(初期値:無効) 有効の場合、本製品の LAN 側アドレスを、接続しているクライアントの DNS サーバーとして設定可能になります。

項目	内容	
その他	MAC アドレスコピー (静的 IP アドレス、 DHCP のみ)	インターネット側に通知する MAC アドレスを区切り記号なしで入力します。 「Copy」をクリックすると、接続中の PC の MAC アドレスをコピーして入力します。
	UPnP	UPnP (Universal Plug and Play) 機能の有効／無効を設定します。UPnP を有効にすると、UPnP 対応 OS で UPnP に対応するネットワーク機器を使用した場合に、自動的に LAN 内の機器を検出して、正常に認識できるようにします。(初期値：無効)
	IPv6 パススルー	プロバイダーから提供される IPv6 サービスを、本製品を経由して利用できるようにする「IPv6 ブリッジ」機能の有効／無効を設定します。 IPv6 サービスを利用する場合でも、本製品を経由しない場合は無効のままでもかまいません。(初期値:無効)
	WAN 側からの Ping に対する応答	WAN (インターネット) 側からの ping に対して応答するかどうかを設定します。 有効にすると、WAN 側からの ping に対して応答します。(初期値：無効)

LAN 設定

ルーターモード

LAN 側の設定を行います。

The screenshot shows the 'LAN 設定' (LAN Settings) page of the ELECOM Wireless AP for Business. The page has a sidebar with navigation links: システム構成, システム情報, 動作モード, WAN 設定, LAN 設定 (selected), 固定DHCP設定, HTTPアクセス, SNMP アクセス, WANポート, and DDNS. The main content area is titled 'LAN 設定' and contains the following fields:

- IPアドレス: 192.168.3.1
- サブネットマスク: 255.255.255.0
- DHCP範囲: 192.168.3.100 - 192.168.3.200
- DHCPリース時間: 48 (1~168 時間)

At the bottom right, there are two buttons: '適用' (Apply) and 'キャンセル' (Cancel).

項目	内容	
LAN 設定	IP アドレス	本製品の LAN 側の IP アドレスです。初期値は「192.168.3.1」です。
	サブネットマスク	使用中のネットワークのサブネットマスクを入力します。初期値は「255.255.255.0」です。
	DHCP 範囲	DHCP サーバーがクライアントに自動的に割り付ける IP アドレスの範囲を指定します。開始アドレス～終了アドレスの範囲でクライアントに IP アドレスが自動的に割り当てられます。 開始の初期値: 192.168.3.100 終了の初期値: 192.168.3.200 「接続端末の表示」をクリックすると、DHCP で接続中の端末の一覧が表示されます。
	DHCP リース時間	DHCP サーバーによりクライアントに割り当てられる IP アドレスのリース時間を設定します。1～168 時間までの範囲で設定できます。初期値は 48 時間です。 指定時間を過ぎると DHCP サーバーより IP アドレスを再取得します。

固定 DHCP 設定

ルーターモード

特定の端末に固定 IP アドレスを割り振ります。通常、クライアントには自動的に IP アドレスが割り当てられますが、クライアントのネットワーク機器などの問題で、特定の IP アドレスを割り当てたい場合などに使用します。

クライアントの MAC アドレスと指定したい IP アドレスを関連づけて登録することができます。最大 20 件まで設定できます。

項目	内容
固定 DHCP の有効	有効 固定 DHCP リストにある内容が有効になりクライアントの IP アドレスが固定されます。
	無効 リストにクライアントの IP アドレスが登録されていても無効にチェックが入っている場合は IP アドレスは固定されません。
IP アドレス	クライアントに割り当てる IP アドレスを入力します。(例：192.168.3.100) ※ DHCP 範囲以外の IP アドレスでも設定可能ですが、割り当て範囲外のため設定は無効となります。
MAC アドレス	IP アドレスを固定するクライアントの MAC アドレスを入力します。 ※ MAC アドレスは「:」で区切らないで入力します。(例：0090fe0123ab)
コメント	機器を区別するための名称などを必要に応じて入力します。 (最大半角 20 文字または全角 10 文字)

項目	内容
追加	設定したクライアントを固定 DHCP リストに追加します。
固定 DHCP リスト	IP アドレスを固定設定したクライアントのリストが表示されます。 リストから削除したい場合は、「選択」をチェック後、「選択を削除」をクリックします。

HTTP アクセス

ルーターモード

WAN 側からの HTTP アクセスを許可するかどうかを設定できます。

The screenshot shows the configuration page for an ELECOM Wireless AP. The left sidebar contains a menu with options like システム構成, システム情報, 動作モード, WAN設定, LAN設定, 固定DHCP設定, HTTPアクセス (selected), SNMP アクセス, WANポート, DDNS, QoS, and DMZ. The main content area is titled 'HTTPアクセス' and 'WANからのHTTPアクセス'. It has two radio buttons: '許可する' (selected) and '許可しない'. Below this, there are three host entries (ホスト1, ホスト2, ホスト3) each with input fields for IPアドレス and サブネットマスク. The values for the subnets are 255.255.255.0. At the bottom right are buttons for '運用' and 'キャンセル'.

項目	内容
HTTP アクセス	許可する WAN (インターネット) 側から本製品へのアクセスを許可します。
	許可しない (初期値) WAN (インターネット) 側から本製品へのアクセスを許可しません。

● 「HTTP アクセス」を「許可する」に設定した場合

以下のメッセージが表示されますので、内容を確認して [OK] ボタンをクリックしてください。

The screenshot shows a 'Web ページからのメッセージ' dialog box. It contains a question mark icon and the text: 'WANからのHTTPアクセスを許可します。管理者以外から設定変更を行えないように、管理者名、管理者パスワードを変更してください。' At the bottom are 'OK' and 'キャンセル' buttons, with the 'OK' button highlighted by a red dashed box.

項目	内容
HTTP アクセスを許可するホスト	すべて インターネット側から本製品へすべての機器でアクセスが可能になります
	任意 インターネット側から本製品へ任意の機器のみアクセスが可能になります。

項目	内容				
ホスト1～3	アクセスを許可する機器の IP アドレスとサブネットマスクを入力します。 〔HTTP アクセスを許可するホスト〕で〔任意〕を選択した場合のみ				
	<設定例1>				
	<table><tr><td>IP アドレス</td><td>192.168.2.1</td></tr><tr><td>サブネットマスク</td><td>255.255.255.0</td></tr></table>	IP アドレス	192.168.2.1	サブネットマスク	255.255.255.0
	IP アドレス	192.168.2.1			
	サブネットマスク	255.255.255.0			
	192.168.2.1～192.168.2.254の同一セグメントのIPアドレスを持つ端末からアクセスが可能になります。				
<設定例2>					
<table><tr><td>IP アドレス</td><td>192.168.2.1</td></tr><tr><td>サブネットマスク</td><td>255.255.255.255</td></tr></table>	IP アドレス	192.168.2.1	サブネットマスク	255.255.255.255	
IP アドレス	192.168.2.1				
サブネットマスク	255.255.255.255				
192.168.2.1のIPアドレスを持つ端末のみアクセスが可能になります。					

SNMP アクセス

ルーターモード

WAN 側からの SNMP アクセスを許可するかどうかを設定できます。

項目	内容
SNMP アクセス	許可する
	許可しない (初期値)

● 「SNMP アクセス」を「許可する」に設定した場合

以下のメッセージが表示されますので、内容を確認して [OK] ボタンをクリックしてください。

項目	内容
SNMP アクセスを許可するホスト	すべて
	任意

項目	内容				
ホスト	アクセスを許可する機器の IP アドレスとサブネットマスクを入力します。 (「SNMP アクセスを許可するホスト」 で「任意」 を選択した場合のみ) <設定例 1>				
	<table><tr><td>IP アドレス</td><td>192.168.2.1</td></tr><tr><td>サブネットマスク</td><td>255.255.255.0</td></tr></table>	IP アドレス	192.168.2.1	サブネットマスク	255.255.255.0
	IP アドレス	192.168.2.1			
	サブネットマスク	255.255.255.0			
	192.168.2.1 ～ 192.168.2.254 の同一セグメントの IP アドレスを持つ端末 からアクセスが可能になります。				
	<設定例 2>				
<table><tr><td>IP アドレス</td><td>192.168.2.1</td></tr><tr><td>サブネットマスク</td><td>255.255.255.255</td></tr></table>	IP アドレス	192.168.2.1	サブネットマスク	255.255.255.255	
IP アドレス	192.168.2.1				
サブネットマスク	255.255.255.255				
192.168.2.1 の IP アドレスを持つ端末のみアクセスが可能になります。					

MEMO

ルーターモードのときに WAN 側から SNMP アクセスを有効にする場合は「ツールボックス - 管理者」設定ページにて、「SNMPバージョン」を「v3」に設定してください。「v1/v2c」設定時は SNMP アクセスを有効に設定しても、WAN 側から SNMP アクセスを行うことができません。

WANポート

ルーターモード

有線 WAN ポートの設定を行います。

The screenshot shows the configuration interface for an ELECOM Wireless AP. The top navigation bar includes 'ELECOM', 'Wireless AP for Business', 'ホーム | ログアウト | Japan (日本語)', and a dropdown menu. Below this is a secondary bar with 'WAB Smart Series', 'システム構成' (selected), '無線設定', and 'ツールボックス'. The left sidebar lists various system settings: システム構成, システム情報, 動作モード, WAN設定 (selected), LAN設定, 固定DHCP設定, HTTPアクセス, SNMP アクセス, WANポート, and DDNS. The main content area is titled 'WANポート' and '有線WANポートの設定'. It shows '有線WANポート' set to '有効' and '速度と通信方式' set to 'MDI フロー制御 802.3az'. Below this, '有線ポート' is set to '有効' and '自動'. There are '適用' and 'キャンセル' buttons at the bottom right of the settings area.

項目	内容	
有線 WAN ポートの設定	有効	無効に設定すると、WAN ポートでの通信ができなくなります。
	速度と通信方式	イーサネットの通信速度と通信方式を次の中から選択します。(初期値：自動)
		自動 自動的に接続先の機器とのネゴシエーションを行い、適切な通信速度の設定が設定されます。 通常は、「自動」を選択してください。 接続先の機器を自動的に判別できない場合は、他の設定を選択してください。
		10Mbps 半二重通信方式 10BASE-T、半二重 (Half Duplex) 通信方式で通信します。
		10Mbps 全二重通信方式 10BASE-T、全二重 (Full Duplex) 通信方式で通信します。
		100Mbps 半二重通信方式 100BASE-TX、半二重 (Half Duplex) 通信方式で通信します。
		100Mbps 全二重通信方式 100BASE-TX、全二重 (Full Duplex) 通信方式で通信します。

項目	内容	
有線 WAN ポートの設定	MDI	接続先の機器のポートの種類です。 この項目は「自動」のみ選択できます。
	フロー制御	フロー制御の「有効」または「無効」を設定します。 (初期値：有効) 「有効」に設定すると、受信側のバッファがあふれ、データの取りこぼし（オーバーフロー）を検出したときに、通信を制御します。
	802.3az	IEEE802.3az の「有効」または「無効」を設定します。 (初期値：有効) 「有効」に設定すると、データの送受信がない待機状態のときに、Ether ポートへの電源供給を止めることで消費電力を減らします。 接続先の機器も IEEE802.3az に対応している必要があります。

DDNS

ルーターモード

DDNS (ダイナミック DNS) を利用すると、WAN 側が固定 IP アドレスでなくても、ホスト名を使ってサーバーなどを利用できるようになります。この機能を利用するには、ダイナミック DNS のサービス提供者に登録する必要があります。

ダイナミック DNS はサービスプロバイダリストに表示されるサービスでご利用いただけます。

MEMO

● あらかじめ DDNS サービスに登録してください。

DDNS サイトにアクセスしてユーザー登録し、ドメイン名やアカウントなどを取得しておいてください。

● DDNS サービスを利用するにあたって

他社 DDNS サービスへの登録については、弊社のサポート対象外となります。登録に関しては、一切責任を負いかねます。

- ・ SkyLink DDNS とは、対象のエレコムまたはロジテック製品をユーザー登録してご利用いただいている方に無償で提供されるダイナミック DNS サービスです。SkyLink DDNS への登録については、下記 URL で詳細をご確認のうえ、ご利用ください。

<http://www.clear-net.jp/>

- ・ DDNS サービスによっては、定期的に更新をしないと登録が削除されてしまうことがあります。登録の更新は、本製品がインターネットに接続されているときに自動的におこなわれるほか、手動で更新する場合があります。更新時期などの詳細はご利用になる DDNS サイトをご覧ください。
- ・ DDNS サービスを使用する場合、本製品の WAN 側の IP アドレスにプロバイダーからのグローバル IP が割り当てられている状態でご利用ください。

ELECOM » Wireless AP for Business ホーム | ログアウト | Japan (日本語) ▼

WAB Smart Series システム構成 無線設定 ツールボックス

システム構成

- システム情報
- 動作モード
- WAN設定
- LAN設定
- 固定DHCP設定
- HTTPアクセス
- SNMP アクセス
- WANポート
- DDNS**
- QoS
- NM7

DDNS

DDNS ☐ 有効 ☒ 無効

サービスプロバイダー SkyLink DDNS ▼

ユーザー名

パスワード

適用 キャンセル

項目	内容	
DDNS	DDNS	ダイナミックDNS 機能の有効／無効を設定します。 (初期値：無効)
	サービスプロバイダー	リストからサービスを選択します。 「SkyLinkDDNS」 または 「Dyn DNS」 が選択可能です。
	ドメイン名 (DynDNS のみ)	登録したドメイン名を入力します。
	ユーザー名	登録したアカウントを入力します。DDNS サービスによってはアカウントが E メールアドレスの場合があります。
	パスワード	設定したパスワードを入力します。

QoS

ルーターモード

QoS は、あらかじめ使用する帯域を予約しておくことで、その通信を優先して伝送させたり、帯域幅の目安を確保することができます。例えばストリーミングのように一定の転送速度が確保されないとい実用的でないようなサービスを利用するときに有効です。

ELECOM
Wireless AP for Business
ホーム | ログアウト | Japan (日本語)

WAB Smart Series
システム構成
無設定
ツールボックス

システム構成
システム情報
動作モード
WAN設定
LAN設定
固定DHCP設定
HTTPアクセス
SNMP アクセス
WANポート
DDNS
QoS
DMZ
ポートフォワーディング
ログ
Syslogサーバー

動作モード
ルーターモード

QoS

QoS設定(アドバンスドユーザー)

特定コミュニケーションのため、特定の通信速度を設定して下さい。最大登録数は20です。

ダウンロード/アップロード帯域幅設定

QoS

☐ 有効
☒ 無効

ダウンロード帯域幅
100 Mbps [1~100Mbps]

アップロード帯域幅
100 Mbps [1~100Mbps]

特定通信に関する設定

通信方向

ダウンロード
上層

上層/下限

1 Mbps [1~100Mbps]

ローカルIPアドレス

追加

QoS設定リスト

通信方向	上層/下限	帯域幅	ローカルIPアドレス	選択
選択を削除	すべてを削除			

適用
キャンセル

項目	内容	
ダウンロード / アップロード帯域幅設定	QoS	QoS 設定の有効／無効を選択します。 (初期値：無効)
	ダウンロード帯域幅	ダウンロードで確保する全体の帯域幅を選択します。 (初期値：100Mbps)
	アップロード帯域幅	アップロードで確保する全体の帯域幅を選択します。 (初期値：100Mbps)

項目	内容	
特定通信に関する設定	通信方向	通信方向を選択します。(ダウンロード/アップロード/両方) (初期値: ダウンロード)
	上限 / 下限	最大帯域 (上限) か、最低帯域保証 (下限) かの設定をします。(初期値: 下限)
	帯域幅	通信で確保する帯域幅を選択します。(初期値: 1Mbps)
	ローカル IP アドレス	この帯域を適用する端末の IP アドレスを入力します。

DMZ

ルーターモード

通常、NAT 変換を利用するルーターでは、WAN（インターネット）側から LAN 上の機器にアクセスすることはできません。

DMZ 機能を使用すると、指定した端末に WAN 側からアクセスできるようになります。

これにより、LAN 上からは通常使用できない双方向通信を利用したサービスを利用できます。

The screenshot shows the 'DMZ' configuration page in the ELECOM router's web interface. On the left, a sidebar contains a list of settings: システム構成, システム情報, 動作モード, WAN設定, LAN設定, 固定DHCP設定, HTTPアクセス, SNMP アクセス, WANポート, DDNS, QoS, DMZ (highlighted), ポートフォワーディング, ログ, and Syslogサーバー. The main content area is titled 'DMZ' and contains a section with a 'DMZ' label, a radio button for '有効' (Enabled) which is currently unselected, and a radio button for '無効' (Disabled) which is selected. Below this is a text input field labeled 'DMZ IPアドレス'. At the bottom right of the main area are two buttons: '適用' (Apply) and 'キャンセル' (Cancel).

重要

設定をおこなう前に、接続先の端末がセキュリティ設定済みであるか、確認してください。

項目	内容	
DMZ	DMZ	DMZ 機能の有効 / 無効を設定します。 (初期値: 無効)
	DMZ IP アドレス	インターネット（外部）に公開する対象となるクライアントの IP アドレスを入力します。「.」で区切る必要があります。 例 192.168. 3.13

ポートフォワーディング

ルーターモード

ポート転送（ポートフォワーディング）機能を設定します。

通常、NAT 変換を利用するルーターでは、WAN（インターネット）側から LAN 上の機器にアクセスすることはできませんが、この機能を利用することで、LAN 上にある指定された機器を WAN 側に開放することができます。

The screenshot shows the ELECOM Wireless AP for Business web interface. The top navigation bar includes 'ELECOM', 'Wireless AP for Business', and 'ホーム | ログアウト | Japan (日本語)'. Below this is a secondary bar with 'WAB Smart Series', 'システム構成' (selected), '無線設定', and 'ツールボックス'. The left sidebar lists various system settings, with 'ポートフォワーディング' (Port Forwarding) highlighted. The main content area is titled 'ポートフォワーディング' and contains instructions: '特定ポートの通信について、転送先の設定を行います。' and '設定できる登録数は、最大20です。'. It features a form to add a new rule with fields for 'ポートフォワーディング' (radio buttons for '有効' and '無効'), 'ローカルIPアドレス', 'タイプ' (dropdown), 'ポート番号', and 'コメント'. Below the form is a table titled 'ポートフォワーディング設定リスト' with columns for 'ローカルIPアドレス', 'タイプ', 'ポート番号', 'コメント', and '選択'. The table has buttons for '選択を削除' and 'すべてを削除'. At the bottom right are '運用' and 'キャンセル' buttons.

重要

この機能を利用する場合で本製品の DHCP サーバー機能を有効にしているときは、44 ページ「固定 DHCP 設定」で、ポートフォワーディングの対象となるクライアントの IP アドレスを固定するようにしてください。

DHCP サーバー機能により動的に IP アドレスが変更されると、意図しない機器が WAN 側に開放される恐れがあります。

項目	内容
ポートフォワーディング	ポートフォワーディング機能の有効 / 無効を設定します。(初期値:無効)
ローカル IP アドレス	ポートフォワーディングの対象となるクライアントの IP アドレスを入力します。
タイプ	プロトコルのタイプを選択します。(初期値:両方)

項目	内容
ポート番号	インターネット側から見た送信先のポート番号を入力します。ポート番号の範囲指定は行えません。
コメント	自由にコメントを入力できます。登録したクライアントを区別するのに便利です。
追加	設定した内容を確定し、リストに追加します。
ポートフォワーディング 設定リスト	入力画面で設定した内容をリストとして表示します。 削除したいときは、「選択」にチェックを入れ、「選択を削除」をクリックします。

LAN の設定

子機モード

子機モード時の LAN の設定を行います。

The screenshot shows the configuration interface for the ELECOM Wireless AP for Business. The top navigation bar includes 'ELECOM', 'Wireless AP for Business', 'ホーム | ログアウト | Japan (日本語)', and a '子機モード' (Sub-machine Mode) button. Below this is a menu bar with 'WAB Smart Series', 'システム構成' (System Configuration), '無線設定' (Wireless Settings), and 'ツールボックス' (Toolbox). The left sidebar contains a tree view with 'システム構成' expanded, showing 'システム情報', '動作モード', 'LAN の設定' (selected), and 'ログ'. The main content area is titled 'LAN の設定' and contains three sections: 'LAN側IPアドレス' (LAN-side IP Address) with fields for 'IPアドレス割り当て' (DHCPクライアント), 'IPアドレス' (192.168.3.1), 'サブネットマスク' (255.255.255.0), and 'デフォルトゲートウェイ' (DHCP); 'DNSサーバー' (DNS Server) with fields for 'プライマリアドレス' (DHCP) and 'セカンダリアドレス' (DHCP); and 'DNSプロキシ' (DNS Proxy) with a radio button for 'DNSプロキシ' (有効/無効). At the bottom right are '適用' (Apply) and 'キャンセル' (Cancel) buttons.

項目	内容	
LAN 側 IP アドレス	IP アドレス割り当て	本製品に IP アドレスを割り当てる方法を設定します。 「DHCP クライアント」を選択すると、自動的に IP アドレスを取得します。 (初期値：DHCP クライアント)
	IP アドレス	「静的 IP アドレス」を選択しているときに、IP アドレスとサブネットマスクを設定します。
	サブネットマスク	
	デフォルトゲートウェイ	DHCP で設定するか、手で値を設定します。 (初期値：DHCP)
DNS サーバー	プライマリアドレス	DHCP で設定するか、手で値を設定します。 (初期値：DHCP)
	セカンダリアドレス	
DNS プロキシ	DNS プロキシ	DNS プロキシ機能の設定を行います。(初期値: 無効) 有効の場合、本製品の LAN 側アドレスを、接続しているクライアントの DNS サーバーとして設定可能になります。

ログ

[アクセスポイントモード](#)
[ルーターモード](#)
[子機モード](#)

システムログを表示します。

ELECOM » Wireless AP for Business ホーム | ログアウト | Japan (日本語)

WAB Smart Series システム構成 無線設定 ツールボックス

システム構成

- システム情報
- 動作モード
- LAN側IPアドレス
- LANポート
- VLAN
- ログ**
- Syslogサーバー

動作モード

- アクセスポイントモード

ログ

```
Dec 1 00:02:04 [SYSTEM]: LAN, Port[0] link is changed to 100Mbps-Full-Duplex
Dec 1 00:00:19 [SYSTEM]: LAN, Port[0] link status is changed to down
Dec 1 00:00:17 [SYSTEM]: FTP server, Stopping
Dec 1 00:00:17 [SYSTEM]: HTTPS, start
Dec 1 00:00:17 [SYSTEM]: HTTP, start
Dec 1 00:00:15 [SYSTEM]: UPnP, Start
Dec 1 00:00:15 [SYSTEM]: SNMP, start SNMP server
Dec 1 00:00:15 [SYSTEM]: LAN, Firewall Disabled
Dec 1 00:00:15 [SYSTEM]: LAN, NAT Disabled
Dec 1 00:00:15 [SYSTEM]: NET, Firewall Disabled
Dec 1 00:00:15 [SYSTEM]: NET, NAT Disabled
Dec 1 00:00:15 [SYSTEM]: LEDs, light on specific LEDs
Dec 1 00:00:14 [SYSTEM]: DNS, start DNS Proxy
Dec 1 00:00:10 [SYSTEM]: WLAN[5G], Channel = 36
Dec 1 00:00:10 [SYSTEM]: WLAN[5G], Wireless Mode = 11AC/VHT20
Dec 1 00:00:01 [SYSTEM]: WLAN[2.4G], Channel = 11
Dec 1 00:00:00 [SYSTEM]: WLAN[2.4G], Wireless Mode = 11NG/HT40/MINUS
Dec 1 00:00:00 [SYSTEM]: DHCP, start
Dec 1 00:00:00 [SYSTEM]: LAN, start
Dec 1 00:00:00 [SYSTEM]: Bridge, start
Dec 1 00:00:00 [SYSTEM]: Bridge, start
Dec 1 00:00:00 [SYSTEM]: SYS, Model Name: WAB-S733MI
Dec 1 00:00:00 [SYSTEM]: SYS, Application Version: 1.0.0
Dec 1 00:00:00 [SYSTEM]: BOOT, WAB-S733MI
```

保存 クリア 更新

項目	内容
保存	表示されているログ内容をテキストデータでダウンロードします。
クリア	表示されているログ内容を削除します。
更新	ログ内容を最新のものに更新します。

Syslog サーバー

アクセスポイントモード

ルーターモード

Syslog サーバーの設定を行います。

The screenshot shows the configuration interface for a Syslog server. The top navigation bar includes 'ELECOM', 'Wireless AP for Business', 'ホーム | ログアウト', and a language dropdown set to 'Japan (日本語)'. Below this is a sub-navigation bar with 'WAB Smart Series', 'システム構成' (selected), '無線設定', and 'ツールボックス'. On the left, a sidebar menu lists 'システム構成' and its sub-items: 'システム情報', '動作モード', 'LAN側IPアドレス', 'LANポート', 'VLAN', 'ログ', 'Syslogサーバー' (highlighted), '動作モード', and 'アクセスポイントモード'. The main content area is titled 'Syslogサーバー'. It features a blue box labeled '転送ログ' and a checkbox labeled '有効' (checked) with the text 'Syslogサーバー' below it. At the bottom right of the main area are two buttons: '適用' and 'キャンセル'.

項目	内容
転送ログ	「有効」にチェックを入れると、ログを「Syslog サーバー」欄で指定したログサーバーに転送します。

WPS

アクセスポイントモード

ルーターモード

WPS (Wi-Fi Protected Setup) 機能の設定をします。

ELECOM » Wireless AP for Business ホーム | ログアウト | Japan (日本語)

WAB Smart Series システム構成 無線設定 ツールボックス

無線設定

- WPS
- 2.4GHz 11b/g/n
 - 基本設定
 - 詳細設定
 - セキュリティ
 - クライアント
 - MACフィルター
- 5GHz 11ac 11an
 - 基本設定
 - 詳細設定
 - セキュリティ
 - クライアント
 - MACフィルター
- WMM
- ワイヤレスモニター

動作モード
アクセスポイントモード

WPS

WPS ☒ 有効

適用

WPS

PIN 09748910 PIN生成

プッシュボタンWPS スタート

PINによるWPS [] スタート

WPSセキュリティ

WPSステータス 設定済 解除

無線 2.4GHz 11b/g/n

SSID elecom2g01-0ee02b

セキュリティ WPA2-PSK AES

暗号化 4948448609040

無線 5GHz 11ac/n/a

SSID elecom5g01-0ee02c

セキュリティ WPA2-PSK AES

暗号化 4948448609040

項目	内容
WPS	本製品の WPS 機能は初期値が有効です。無効にする場合は「有効」のチェックをはずし「適用」をクリックしてください。
	PIN 本製品の PIN コードです。子機に入力するために使用します。「PIN 生成」をクリックすると、新しい PIN コードを発行できます。 初期値では PIN コードの桁が少ない場合があります。その場合は、「PIN 生成」をクリックして、新しい PIN コードをご使用ください。
	プッシュボタン WPS 「スタート」をクリックすると、WPS 接続を開始できます。(このとき、PIN コードの入力は必要ありません。)
	PIN による WPS 接続する無線子機の PIN コードを設定します。PIN コードを入力し、「スタート」をクリックします。

項目	内容	
WPS セキュリティ	WPS 機能を実行したときに反映される設定内容を表示します。 解除をクリックすると未構成の状態になります。	
	未設定	2.4GHz または 5GHz の設定が未設定です。
	設定済み	2.4GHz、5GHz それぞれの設定が設定済みです。 WPS の接続先となる次の情報が表示されます。 SSID、セキュリティ、暗号化キー
無線 2.4GHz	2.4GHz 帯の接続情報が表示されます。	
無線 5GHz	5GHz 帯の接続情報が表示されます。	

2.4GHz 11bgn / 5GHz 11ac 11an アクセスポイントモード ルーターモード

2.4GHz および 5GHz の無線設定を行います。

■ 基本設定

項目	内容
無線	無線 LAN 機能の「有効」または「無効」を設定します。(初期値：有効)
無線通信モード	2.4GHz 帯の無線通信モードを次のの中から選択します。無線 LAN の帯域によって設定できる項目が異なります。(初期値：2.4GHz 11b/g/n、5GHz 11n/a/ac)
	2.4GHz の場合
	11b IEEE802.11b 規格だけを使用します。
	11g IEEE802.11g 規格だけを使用します。
	11b/g IEEE802.11b 規格と IEEE802.11g 規格を使用します。
	11g/n IEEE802.11g 規格と IEEE802.11n 規格を使用します。
	11b/g/n IEEE802.11b 規格、IEEE802.11g 規格、IEEE802.11n 規格を使用します。
	5GHz の場合
	11a IEEE802.11a 規格だけを使用します。
	11a/n IEEE802.11a 規格と IEEE802.11n 規格を使用します。
	11a/n/ac IEEE802.11a 規格、IEEE802.11n 規格、IEEE802.11ac 規格を使用します。

項目	内容		
有効 SSID 数	有効にする SSID の個数を設定します。(初期値: 1 (SSID1 のみ有効)) 2.4GHz、5GHz それぞれ 5 個まで設定できます。(SSID1 ~ SSID5) SSID の数が多くなるほど負荷がかかり、通信速度が遅くなる場合があります。		
SSID1 ~ 5	「有効 SSID 数」で有効にした個数の SSID と VLAN ID を設定します。 (SSID の初期値: elecom" 周波数帯 " "SSID 番号" - "MAC アドレスの下 6 桁") ※ " 周波数帯 " は、2.4GHz : 2g、5GHz : 5g となります。 例えば、" 周波数帯 " が 2.4GHz、"SSID 番号" が 1、"MAC アドレスの下 6 桁" が 12:34:56 のとき SSID は、[elecom2g01-123456] となります。 SSID は初期値から変更することができます。(半角英数字および半角記号で、1 ~ 32 文字まで設定できます。大文字と小文字は区別されます。) <table border="1"> <tr> <td>VLAN ID</td><td>各 SSID に 1 ~ 4094 までの整数値で固有の VLAN ID を設定します。(初期値: 1) (※アクセスポイントモード時のみ対応)</td></tr> </table>	VLAN ID	各 SSID に 1 ~ 4094 までの整数値で固有の VLAN ID を設定します。(初期値: 1) (※アクセスポイントモード時のみ対応)
VLAN ID	各 SSID に 1 ~ 4094 までの整数値で固有の VLAN ID を設定します。(初期値: 1) (※アクセスポイントモード時のみ対応)		
オートチャンネル	オートチャンネル機能の「有効」または「無効」を設定します。(初期値: 無効) 「有効」に設定すると空きチャンネルを自動検出します。		

●オートチャンネルが無効の場合

チャンネル	使用チャンネルを設定します。	
	2.4GHz の場合	Ch1 ~ 13 (初期値: Ch11)
	5GHz の場合	Ch 36、40、44、48、52 (DFS)、56 (DFS)、60 (DFS)、64 (DFS)、100 (DFS)、104 (DFS)、108 (DFS)、112 (DFS)、116 (DFS)、120 (DFS)、124 (DFS)、128 (DFS)、132 (DFS)、136 (DFS)、140 (DFS) (初期値: Ch36)
チャンネル帯域幅	無線 LAN が帯域により使用する追加チャンネルを選択します。	
	2.4GHz の場合	[20MHz]、[Auto, +Ch (-4)]、[40MHz, +Ch (-4)] (初期値: Auto, +Ch (-4))
	5GHz の場合	[20MHz]、[40MHz, +Ch xx]、[Auto, 80/40/20MHz] (初期値: 20MHz ^{※1})
BSS BasicRateSet	本製品と無線機器の管理・制御通信フレームの通信速度を選択します。 設定を変更した場合に問題がある場合は、初期値を使用してください。	
	2.4GHz の場合	[1, 2Mbps]、[1, 2, 5.5, 11Mbps]、[1, 2, 5.5, 6, 11, 12, 24Mbps]、[all] (初期値: 1, 2, 5.5, 11Mbps)
	5GHz の場合	[6, 12, 24 Mbps]、[all] (初期値: 6, 12, 24Mbps)

※1 初期値は 20MHz (86.7Mbps) です。433Mbps でご利用になる場合は「Auto, 80/40/20MHz」へ設定変更を変更してください。

●オートチャンネルが有効の場合

オートチャンネル 範囲	チャンネルで使用する周波数帯を選択します。	
	2.4GHz の場合	「Ch 1 - 11」、 「Ch 1 - 13」 (初期値 Ch 1 - 11)
	5GHz の場合	「W52」、 「W52+W53」、 「W52+W53+W56」 * (初期値 W52+W53+W56)
	※ W52 : 36/40/44/48ch W53 : 52/56/60/64ch W56 : 100/104/108/112/116/120/124/128/132/136/140ch	
	MEMO ● 近い周波数帯を使用した無線機器が本製品の通信速度に影響を与えることがあります。チャンネルを変更して異なる周波数帯を設定してください。 ● W53 および W56 のチャンネルでは、DFS (Dynamic Frequency Selection) 機能が有効になります。これは、気象・管制レーダー等への混信を避けるために、自動的に使用している周波数帯を変更する機能です。自動変更が発生した時に無線通信が一時停止することがあります。 ● W52 および W53 は屋外で利用できません。W56 は屋外で利用できます。	
オートチャンネル 間隔	チャンネルを変更する間隔を次の中から選択します。「オートチャンネル」が「有効」の場合のみ設定できます。(初期値 : 30 分) 「30 分」、 「1 時間」、 「2 時間」、 「12 時間」、 「1 日」、 「2 日」	
	クライアントが接続している場合でも、チャンネルを変更する	本製品に無線子機を接続しているときでも自動的にチャンネルを変更します。
チャンネル帯域幅	無線 LAN が帯域により使用する追加チャンネルを選択します。	
	2.4GHz の場合	「20MHz」、 「Auto」、 「40MHz」 (初期値 : Auto)
	5GHz の場合	「20MHz」、 「Auto 40/20MHz」、 「Auto 80/40/20MHz」 (初期値 : Auto 80/40/20MHz.) ● 最大 2 つのチャンネルを使用する場合は「Auto 40/20MHz」、最大 4 つのチャンネルを使用する場合は「Auto 80/40/20MHz」を選択してください。
BSS BasicRateSet	本製品と無線機器の管理・制御通信フレームの通信速度を選択します。設定を変更した場合に問題がある場合は、初期値を使用してください。	
	2.4GHz の場合	「1, 2Mbps」、 「1, 2, 5.5, 11Mbps」、 「1, 2, 5.5, 6, 11, 12, 24Mbps」、 「all」 (初期値 : 1, 2, 5.5, 6, 11, 12, 24Mbps)
	5GHz の場合	「6, 12, 24 Mbps」、 「all」 (初期値 : 6, 12, 24Mbps)

■ 詳細設定

ELECOM Wireless AP for Business
ホーム | ログアウト | Japan (日本語)

WAB Smart Series
システム構成
無線設定
ツールボックス

無線設定
WPS
2.4GHz 11bgn
基本設定
詳細設定
セキュリティ
クライアント
MACフィルター
5GHz 11ac 11an
基本設定
詳細設定
セキュリティ
クライアント
MACフィルター
WMM
ワイヤレスモニター
動作モード

詳細設定

2.4 GHz 詳細設定

Contention Slot	Short
Preamble Type	Short
ガードインターバル	Short GI
802.11g Protection	☒ 有効 ☐ 無効
802.11n Protection	☒ 有効 ☐ 無効
UAPSD	☒ 有効 ☐ 無効
DTIM Period	1 (1-255)
RTS Threshold	2347 (1-2347)
Fragment Threshold	2346 (256-2346)
マルチキャストレート	自動
送信出力	100%
ビーコン間隔	100 (40-1000 ms)
キープアライブ期間	60 (0-65535 秒)
マルチユニキャスト変換	☐ 有効 ☒ 無効

適用
キャンセル

項目	内容
Contention Slot (2.4GHz のみ)	Contention Slot を「Short」 または「Long」 から選択します。 (初期値 : Short) 本製品と、接続する無線機器の Contention Slot の設定を同じ「Short」 に設定すると、通信速度が向上する場合があります。 接続する無線機器が「Short」 に対応していない場合は、接続ができないことがあります。
Preamble Type (2.4GHz のみ)	Preamble Type を「Short」 または「Long」 から選択します。 (初期値 : Short) 本製品と、接続する無線機器の Preamble Type の設定を同じ「Short」 に設定すると、通信速度が向上する場合があります。 接続する無線機器が「Short」 に対応していない場合は、接続ができないことがあります。 接続する無線機器の Preamble Type を同じ設定にしてください。

項目	内容				
ガードインターバル	干渉を避けるための符号長の設定を次の中から選択します。 (初期値: Short GI) <table border="1"> <tr> <td>Short GI</td><td>符号長の付加時間を短くし、「Long GI」を選択した場合より多くの情報を送信することができますが、符号間干渉が発生しやすくなります。</td></tr> <tr> <td>Long GI</td><td>符号長の付加時間を長くし、符号間干渉の発生を防ぎます。</td></tr> </table>	Short GI	符号長の付加時間を短くし、「Long GI」を選択した場合より多くの情報を送信することができますが、符号間干渉が発生しやすくなります。	Long GI	符号長の付加時間を長くし、符号間干渉の発生を防ぎます。
Short GI	符号長の付加時間を短くし、「Long GI」を選択した場合より多くの情報を送信することができますが、符号間干渉が発生しやすくなります。				
Long GI	符号長の付加時間を長くし、符号間干渉の発生を防ぎます。				
802.11g Protection	「有効」に設定すると、11b/g 規格が混在している通信環境で、11g 規格を優先します。				
802.11n Protection	「有効」に設定すると、11b/g/n 規格が混在している通信環境で、11n 規格を優先します。				
UAPSD	UAPSD の「有効」または「無効」を設定します。(初期値: 有効) UAPSD を「無効」に設定すると、接続クライアントの省電力化に貢献できる場合があります。				
DTIM Period	省電力に関する情報を本製品から無線機器に送信する間隔を 1 ～ 255 の範囲で設定します。(初期値: 1) 間隔が大きいくほど無線機器の省電力効果が増しますが、応答が遅くなります。ただし、無線機器の省電力の設定を有効にしていないと、この設定は無効です。				
RTS Threshold	RTS 手順を行うときのサイズを 1 ～ 2347 の範囲で設定します。 (初期値: 2347) 設定したサイズよりもフレームサイズが大きい場合、RTS を送信します。				
Fragment Threshold	送信フレームの断片化を行うときのサイズを 256 ～ 2346 の範囲で設定します。(初期値: 2346) 設定したサイズよりもフレームサイズが大きい場合、フレームを分割して送信します。				
マルチキャストレート	マルチキャストパケットの通信速度を次の中から選択します。 (初期値: 自動) 「自動」、「1 Mbps (2.4GHz のみ)」、「2 Mbps (2.4GHz のみ)」、「5.5 Mbps (2.4GHz のみ)」、「11 Mbps (2.4GHz のみ)」、「6 Mbps」、「9 Mbps」、「12 Mbps」、「18 Mbps」、「24 Mbps」、「36 Mbps」、「48 Mbps」、「54 Mbps」 「自動」を選択すると、通信環境にあわせて自動的に最適な速度で通信します。				

項目	内容
送信出力	本製品が無線で送信するときの電波の出力強度を次の中から選択します。(初期値：100%) 「100%」、「90%」、「75%」、「50%」、「25%」、「10%」 本製品の電波の届く範囲を調整することができます。
ビーコン間隔	ビーコンフレームの送信間隔を設定します。 ビーコンフレーム間隔を短くすると無線機器からの検出は早くなりますが、通信速度が低下する可能性があります。 通常は初期値で使用してください。 2.4GHz：40 ～ 1000ms（初期値：100ms） 5GHz：100 ～ 1000ms（初期値：100ms）
キープアライブ期間	本製品に無線機器を接続している場合、本製品が無線機器に接続されていることを確認する間隔を 16 ～ 65535 秒の範囲で設定します。 (初期値：60 秒) 通常は初期値（60 秒）のまま使用してください。
マルチ→ユニキャスト変換	有効の場合、有線ポートからのマルチキャストパケットを、ユニキャストパケットに変換してクライアントに届けます。 マルチキャストパケットによる帯域不足が起きる場合、有効にすることで改善される場合があります。(初期値：無効)

■ セキュリティ

ELECOM » Wireless AP for Business ホーム | ログアウト | Japan (日本語)

WAB Smart Series システム構成 無線設定 ツールボックス

無線設定

- ▶ WPS
- ▶ 2.4GHz 11bgn
 - 基本設定
 - 詳細設定
 - ▶ セキュリティ
 - クライアント
 - MACフィルター
- ▶ 5GHz 11ac 11an
 - 基本設定
 - 詳細設定
 - セキュリティ
 - クライアント
 - MACフィルター
- ▶ WMM
- ▶ ワイヤレスモニター

セキュリティ

2.4 GHz ワイヤレスセキュリティ設定

SSID: elecom2g01-0ee02b

ブロードキャストSSID: 有効

セパレーター機能: 無効

接続制限台数: 10 / 10

認証方式: WPA-PSK

WPAタイプ: WPA2

暗号化タイプ: AES

キー更新間隔: 60 分

Pre-shared キータイプ: パスフレーズ

Pre-shared キー: 4948448809040

追加認証: 追加認証なし

適用 キャンセル

項目	内容			
SSID	セキュリティを設定する SSID を選択します。(初期値: SSID1) 「無線設定」 – 「2.4GHz 11bgn」または「5GHz 11ac 11an」の「基本設定」で設定した SSID のみ選択できます。			
ブロードキャスト SSID	無線 LAN 上の無線機器から本製品を検索可能にする機能の「有効」または「無効」を設定します。(初期値: 有効)			
	<table border="1"> <tr> <td>有効</td><td>無線機器を本製品に接続する場合、無線機器側で本製品を検索可能にします。ただし、無線機器側もブロードキャスト SSID を有効にする必要があります。</td></tr> <tr> <td>無効</td><td>無線機器を本製品に接続する場合、無線機器側で本製品を検索しても見つからないようになります。無線機器側で本製品の SSID を直接入力する必要があります。</td></tr> </table>	有効	無線機器を本製品に接続する場合、無線機器側で本製品を検索可能にします。ただし、無線機器側もブロードキャスト SSID を有効にする必要があります。	無効
有効	無線機器を本製品に接続する場合、無線機器側で本製品を検索可能にします。ただし、無線機器側もブロードキャスト SSID を有効にする必要があります。			
無効	無線機器を本製品に接続する場合、無線機器側で本製品を検索しても見つからないようになります。無線機器側で本製品の SSID を直接入力する必要があります。			

項目	内容	
セパレーター機能	同一周波数帯に接続している無線機器間の通信制限を次の中から選択します。(初期値：無効) ● セパレーター機能は、無線機器間に対する通信制御機能です。	
	無効	無線機器間への通信制御を行いません。
	STA セパレーター	現在の無線通信モードに接続しているすべての無線機器間の通信を禁止します。
	SSID セパレーター	同じ無線通信モードの同じ SSID に接続している無線機器間のみ通信を許可します。
	STA & SSID セパレーター	同じ無線通信モード同じ SSID に接続しているすべての無線機器間の通信を禁止します。
接続制限台数	各無線通信モードの最大同時接続台数を設定します。 (設定範囲は、2.4GHz、5GHz とともに 1 ～ 10 (初期値：10) です。) ● この設定は接続可能な最大数です。最大数を接続したときの通信状況は、接続無線機器の通信量や環境により影響されます。	
認証方式	本製品へ接続された無線機器に使用する認証方式を設定します。 (初期値：WPA-PSK ※ SSID2 ～ 5 は初期値：無効) WPA2-PSK を設定する場合は、接続する無線機器が WPA2 に対応している必要があります。	
	認証なし	認証方式を設定しません。 通常は「認証なし」に設定しないでください。悪用されたり、パソコンに不正アクセスされる場合があります。
	WEP	WEP にしか対応していない機器の場合、選択します。
	WPA-PSK	通常はこちらを選択します。

●認証方式が WEP の場合

項目	内容
キーの長さ	暗号化キーの長さを「64 ビット」または「128 ビット」から選択します。 (初期値：64 ビット)
キータイプ	暗号化キーの書式を「ASCII (5 / 13 文字)」または「Hex (10 / 26 文字)」から選択します。 (初期値：ASCII (5 / 13 文字))
デフォルトキー	使用する暗号化キーを選択します。(初期値：キー 1)
暗号化キー 1～4	「キータイプ」で選択した書式の暗号化キーを入力します。 (初期値：空欄)

●認証方式が WPA-PSK の場合

WPA タイプ	WPA のタイプを選択します。 ご使用になる無線子機が対応している種別を選択します。 [WPA/WPA2 mixed mode-PSK]、[WPA2]	
暗号化タイプ	暗号化タイプを表示します。	
	AES	暗号化に強力なアルゴリズムを利用し、さらに安全性を高めた暗号通信方式です。 この暗号化方式を利用する場合は、本製品と無線機器の両方で AES/CCM プロトコルに対応している必要があります。
	WPA/WPA2 mixed mode-PSK	無線子機に WPA-PSK ([AES] または [TKIP]) と WPA2-PSK が混在している場合でも、この項目を選択しておくといずれの無線子機とも接続できます。 また、無線子機がすべて [WPA2-PSK (TKIP)] の場合も、こちらを選択します。
キー更新間隔	Pre-shared キー (事前共有キー) の更新間隔を 0 ～ 9999 分の範囲で設定します。(初期値: 60 分)	
Pre-shared キータイプ	Pre-shared キー(事前共有キー) の書式を「パスフレーズ」または「Hex (64 文字)」から選択します。(初期値: パスフレーズ)	
	パスフレーズ	半角英数字 8 ～ 63 文字で入力します。
	Hex (64 文字)	16 進数 64 桁で入力します。
Pre-shared キー	SSID1 の場合	本製品に設定された初期値が表示されています。 任意の値に変更できます。
	SSID2 ～ 5 の場合	初期値は空欄です。任意の Pre-shared キーを入力します。
追加認証	無線機器接続時の追加認証の方式を選択します。(初期値: 追加認証なし)	
	追加認証なし	追加認証を設定しません。
	MAC アドレスフィルター	接続を許可する無線機器の MAC アドレスを本製品へ登録しておき、該当する機器のみ接続を認証します。 MAC アドレスの登録については、74 ページ「MAC フィルター」を参照してください。 MEMO 「MAC アドレスフィルター」を有効にする場合は、[WPS] 機能を無効にする必要があります。WPS を無効にする手順は 62 ページを参照してください。

■ クライアント

本製品と通信をしている無線機器の情報が表示されます。



項目	内容
数	本製品と接続している無線機器の SSID 番号が表示されます。
SSID	無線機器が接続している SSID が表示されます。
MAC アドレス	本製品と接続している無線機器の MAC アドレスが表示されます。
送信パケット	本製品と接続している無線機器に送信したデータ量 (KBytes) が表示されます。
受信パケット	本製品と接続している無線機器から受信したデータ量 (KBytes) が表示されます。
シグナル (%)	本製品と接続している無線機器の信号強度 (%) が表示されます。
接続時間	本製品と接続している無線機器の連続接続時間が表示されます。
アイドルタイム	本製品と接続していた無線機器が切断されて (通信していない状態になって) から現在までの時間が表示されます。
リフレッシュ	クリックすると表示内容が更新されます。

■ MACフィルター

登録した MAC アドレスを持つ無線子機のみ通信を許可します。
 第三者の無線子機からの不正アクセスを防止するのに役立ちます。
 登録すると、登録された MAC アドレス以外の機器からのアクセスを拒否します。
 2.4GHz 用、5GHz 用それぞれの登録テーブルが用意されています。



項目	内容				
接続許可 MAC アドレス	接続を許可したい無線機器の MAC アドレスを登録します。 ● MAC アドレスは、「XX:XX:XX:XX:XX:XX」のように「: (半角コロン)」で英数字 2 桁ずつを区切った書式で入力してください。 「XX-XX-XX-XX-XX-XX」、「XXXXXXXXXXXX」のような、「- (ハイフン)」区切りや、区切り文字なしの書式では入力できません。 ● MAC アドレスを複数指定する場合は「, (カンマ)」または改行で区切って入力してください。 例) <table border="1"> <tr> <td>カンマ区切り</td><td>00:11:22:33:44:55,12:34:56:78:91:bc</td></tr> <tr> <td>改行区切り</td><td>00:11:22:33:44:55 12:34:56:78:91:bc</td></tr> </table>	カンマ区切り	00:11:22:33:44:55,12:34:56:78:91:bc	改行区切り	00:11:22:33:44:55 12:34:56:78:91:bc
カンマ区切り	00:11:22:33:44:55,12:34:56:78:91:bc				
改行区切り	00:11:22:33:44:55 12:34:56:78:91:bc				

項目	内容
MAC アドレスフィルタリング テーブル	MAC アドレス 本製品に無線 LAN でアクセスすることを許可する無線子機の MAC アドレスが表示されます。
	アクション リスト上の MAC アドレスを削除するときは、チェックボックスをクリックして選択し、「選択を削除」 ボタンをクリックしてください。

WMM

[アクセスポイントモード](#)
[ルーターモード](#)

本製品と無線機器の間での通信で、特定の通信にのみ優先順位を設定します。リアルタイム性が要求されるビデオや音声などの各種ストリーミングで、安定した通信を行うことができます。

MEMO

本製品の QoS 機能を使用する場合は、ネットワーク内の他の機器も同一構成および設定の QoS 機能を使用することを推奨します。

項目	内容			
QoS 設定	QoS 機能の「有効」または「無効」を設定します。(初期値:有効)			
	<table border="1"> <tr> <td>無効</td><td>本製品と無線機器の間での通信について、優先制御を行わず、入力順にすべてのフレームが処理されます。</td></tr> <tr> <td>有効</td><td>WMM-EDCA 設定を元に通信の制御を行います。QoS 機能を有効にするためには、本製品と無線機器の両方で QoS を有効に設定してください。</td></tr> </table>	無効	本製品と無線機器の間での通信について、優先制御を行わず、入力順にすべてのフレームが処理されます。	有効
無効	本製品と無線機器の間での通信について、優先制御を行わず、入力順にすべてのフレームが処理されます。			
有効	WMM-EDCA 設定を元に通信の制御を行います。QoS 機能を有効にするためには、本製品と無線機器の両方で QoS を有効に設定してください。			

項目	内容													
WMM-EDCA 設定	通常は変更する必要がありません。設定を変更する場合は、よくご理解の上変更してください。													
	<table border="1"> <tr> <td>CWMin CWMax</td><td>コンテンションウィンドウの最大値(CWMax)、最小値 (CWMin) を設定します。 設定値は、CWMax > CWMin とします。 コンテンションウィンドウ値が小さいと、そのキューが送信権を得る確率が高くなり、優先度も高くなります。</td></tr> <tr> <td>AIFSN</td><td>フレーム送信間隔を設定します。 間隔が短いとキューの優先度が上がります。</td></tr> <tr> <td>TxOP</td><td>送信権を得たキューの転送占有時間です。長く設定すると、フレームの転送量は増えますが、リアルタイム性が損なわれます。単位は 32ms です。</td></tr> <tr> <td>Back Ground</td><td>バックグラウンドの通信を設定します。</td></tr> <tr> <td>Best Effort</td><td>ベストエフォートの通信を設定します。</td></tr> <tr> <td>Video</td><td>ビデオの通信を設定します。</td></tr> <tr> <td>Voice</td><td>音楽の通信を設定します。</td></tr> </table>	CWMin CWMax	コンテンションウィンドウの最大値(CWMax)、最小値 (CWMin) を設定します。 設定値は、CWMax > CWMin とします。 コンテンションウィンドウ値が小さいと、そのキューが送信権を得る確率が高くなり、優先度も高くなります。	AIFSN	フレーム送信間隔を設定します。 間隔が短いとキューの優先度が上がります。	TxOP	送信権を得たキューの転送占有時間です。長く設定すると、フレームの転送量は増えますが、リアルタイム性が損なわれます。単位は 32ms です。	Back Ground	バックグラウンドの通信を設定します。	Best Effort	ベストエフォートの通信を設定します。	Video	ビデオの通信を設定します。	Voice
CWMin CWMax	コンテンションウィンドウの最大値(CWMax)、最小値 (CWMin) を設定します。 設定値は、CWMax > CWMin とします。 コンテンションウィンドウ値が小さいと、そのキューが送信権を得る確率が高くなり、優先度も高くなります。													
AIFSN	フレーム送信間隔を設定します。 間隔が短いとキューの優先度が上がります。													
TxOP	送信権を得たキューの転送占有時間です。長く設定すると、フレームの転送量は増えますが、リアルタイム性が損なわれます。単位は 32ms です。													
Back Ground	バックグラウンドの通信を設定します。													
Best Effort	ベストエフォートの通信を設定します。													
Video	ビデオの通信を設定します。													
Voice	音楽の通信を設定します。													

WMMパラメーターの初期値は、次のとおりです。

アクセスポイントのWMMパラメーター(無線機器)の初期値

	CWMin	CWMax	AIFSN	TxOP
Back Ground	4	10	7	0
Best Effort	4	6	3	0
Video	3	4	1	94
Voice	2	3	1	47

STA のWMM パラメーター(無線機器)の初期値

	CWMin	CWMax	AIFSN	TxOP
Back Ground	4	10	7	0
Best Effort	4	10	3	0
Video	3	4	2	94
Voice	2	3	2	47

ワイヤレスモニター

[アクセスポイントモード](#)
[ルーターモード](#)

本製品の周囲に設置されている無線機器の使用状況が表示されます。

「2.4GHz 11bgn」および「5GHz 11ac 11an」の「基本設定」で「無線」を「有効」に設定している帯域のみワイヤレスモニターが動作します。

The screenshot shows the 'Wireless Monitor' page in the ELECOM web interface. The left sidebar contains navigation links for '無線設定' (Wireless Settings), 'WPS', '2.4GHz 11bgn', '5GHz 11ac 11an', and 'WMM'. The main content area is titled 'ワイヤレスモニター' and includes a '周辺AP設定' (Surrounding AP Settings) section with a '不正AP' (Unauthorized AP) toggle. Below this, there are two tables: one for '無線 2.4GHz' and one for '無線 5GHz'. Each table has columns for Ch, SSID, MACアドレス, セキュリティ (Security), シグナル (%) (Signal (%)), and タイプ (Type). The 2.4GHz table shows two entries, with the first one highlighted in blue. The 5GHz table shows three entries. A 'リフレッシュ' (Refresh) button is at the bottom.

Ch	SSID	MACアドレス	セキュリティ	シグナル (%)	タイプ
4	elecom2g-123456	00:01:02:AA:BB:CC	WPA2PSK/AES	28	11b/gn
6			WPA2PSK/AES	100	11b/gn

Ch	SSID	MACアドレス	セキュリティ	シグナル (%)	タイプ
44			WPA2PSK/AES	97	11ac
44			WPA2PSK/AES	96	11ac
52			WPA2PSK/AES	73	11ac

登録済みの
アクセスポイント

項目	内容	
詳細設定	周囲に設置されている任意の無線アクセスポイントを手動で登録します。 登録済みのアクセスポイントは薄いグレーの背景で表示されます。	
無線 2.4GHz、 無線 5GHz	Ch	検出された無線機器のチャンネルが表示されます。
	SSID	検出された無線機器の SSID が表示されます。
	MAC アドレス	検出された無線機器の MAC アドレスが表示されます。
	セキュリティ	検出された無線機器のセキュリティタイプが表示されます。
	シグナル (%)	検出された無線機器の信号強度 (%) が表示されます。
	タイプ	検出された無線機器の無線通信モードが表示されます。
リフレッシュ	表示を最新の使用状況に更新します。	

■ 詳細設定

周囲に設置されている任意の無線アクセスポイントを手動で登録します。
MACアドレスを登録した無線アクセスポイントは、正当な無線アクセスポイントとして認識され、「ワイヤレスモニター」の画面一覧では薄いグレーの背景で表示されます。

項目	内容				
接続許可 MAC アドレス	接続を許可したい無線機器の MAC アドレスを登録します。 ● MAC アドレスは、「XX:XX:XX:XX:XX:XX」のように「: (半角コロン)」で英数文字 2 桁ずつを区切った書式で入力してください。 「XX-XX-XX-XX-XX-XX」、「XXXXXXXXXXXX」のような、「- (ハイフン)」区切りや、区切り文字なしの書式では入力できません。 ● MAC アドレスを複数指定する場合は「, (カンマ)」または改行で区切って入力してください。 例) <table border="1"> <tr> <td>カンマ区切り</td><td>00:11:22:33:44:55,12:34:56:78:91:bc</td></tr> <tr> <td>改行区切り</td><td>00:11:22:33:44:55 12:34:56:78:91:bc</td></tr> </table>	カンマ区切り	00:11:22:33:44:55,12:34:56:78:91:bc	改行区切り	00:11:22:33:44:55 12:34:56:78:91:bc
カンマ区切り	00:11:22:33:44:55,12:34:56:78:91:bc				
改行区切り	00:11:22:33:44:55 12:34:56:78:91:bc				

項目	内容
登録済みアクセスポイント	MAC アドレス 本製品に無線 LAN でアクセスすることを許可する無線子機の MAC アドレスが表示されます。
	アクション リスト上の MAC アドレスを削除するときは、チェックボックスをクリックして選択し、「選択を削除」 ボタンをクリックしてください。

無線LAN

子機モード

本製品と無線親機を接続します。



項目	内容																																								
SSID	「検索」をクリックすると、周囲の検索可能な無線機器を表示します。																																								
	接続するSSIDを選択してください。 <table><tr><th>選択</th><th>チャンネル</th><th>SSID</th><th>BSSID</th><th>暗号化</th><th>認証</th><th>シグナル</th><th>モード</th></tr><tr><td>☐</td><td>5</td><td></td><td></td><td>AES</td><td>WPA2PSK</td><td>15dbm</td><td>11b/g/n</td></tr><tr><td>☐</td><td>6</td><td></td><td></td><td>AES</td><td>WPA2PSK</td><td>92dbm</td><td>11b/g/n</td></tr><tr><td>☐</td><td>8</td><td></td><td></td><td>AES</td><td>WPA2PSK</td><td>3dbm</td><td>11b/g/n</td></tr><tr><td>☐</td><td>44</td><td></td><td></td><td>AES</td><td>WPA2PSK</td><td>100dbm</td><td>11ac</td></tr></table> 更新 適用 戻る	選択	チャンネル	SSID	BSSID	暗号化	認証	シグナル	モード	☐	5			AES	WPA2PSK	15dbm	11b/g/n	☐	6			AES	WPA2PSK	92dbm	11b/g/n	☐	8			AES	WPA2PSK	3dbm	11b/g/n	☐	44			AES	WPA2PSK	100dbm	11ac
	選択	チャンネル	SSID	BSSID	暗号化	認証	シグナル	モード																																	
☐	5			AES	WPA2PSK	15dbm	11b/g/n																																		
☐	6			AES	WPA2PSK	92dbm	11b/g/n																																		
☐	8			AES	WPA2PSK	3dbm	11b/g/n																																		
☐	44			AES	WPA2PSK	100dbm	11ac																																		
	接続する無線親機を選択欄にチェックを入れ、「適用」をクリックすると、親機を選択することができます。																																								
帯域																																									
暗号化																																									
暗号化キー																																									

ツールボックス

管理者

アクセスポイントモード

ルーターモード

子機モード

本製品の設定画面にログインするためのアカウントや本製品の詳細設定について設定します。

The screenshot shows the 'Tools Box' (ツールボックス) menu on the left, with 'Admin' (管理者) selected. The main area displays the 'Admin' (管理者) settings. Under 'Account for managing this product' (本製品を管理するアカウント), the 'Admin Name' (管理者名) is 'admin' and the 'Admin Password' (管理者パスワード) is masked. Under 'Detailed Settings' (詳細設定), the 'Product Name' (製品名) is 'WAB04AB180EE02B'. The 'Management Protocol' (管理プロトコル) has checkboxes for HTTP, HTTPS, and SNMP, with SNMP selected. The 'SNMP Version' (SNMPバージョン) is 'v1/v2c'. The 'SNMP Get Community' (SNMP取得コミュニティ) is 'public', and the 'SNMP Set Community' (SNMP設定コミュニティ) is 'private'. The 'SNMP User Name' (SNMP ユーザー名) is empty. The 'SNMP Authentication Type' (SNMP 認証タイプ) is 'SHA'. The 'SNMP Authentication Password' (SNMP 認証 パスワード) is empty. The 'SNMP Encryption Type' (SNMP 暗号化タイプ) is 'DES'. The 'Pre-shared Key' (Pre-sharedキー) is empty. The 'SNMP System Location' (SNMPシステムロケーション) is 'Unknown'. The 'SNMP Trap' (SNMPトラップ) is 'None' (無効). The 'SNMP Trap Community' (SNMPトラップコミュニティ) is 'public'. The 'SNMP Trap Manager' (SNMPトラップマネージャ) is empty. At the bottom are 'Apply' (適用) and 'Cancel' (キャンセル) buttons.

項目	内容
本製品を管理するアカウント	管理者名 設定画面のログイン時に使用するユーザー名です。 (初期値: admin) 変更する場合は、半角英数字および「-」で4～16文字の範囲で設定します。 「-」はユーザー名の先頭または末尾に設定できません。 空欄は設定できません。
	管理者パスワード 設定画面のログイン時に使用するパスワードです。 (初期値: admin) 変更する場合は、半角英数字および記号で6～32文字の範囲で設定します。空欄は設定できません。 「(確認)」にも同じパスワードを入力してください。 重要 セキュリティ確保のため、初期値からの変更をおすすめします。

項目	内容																
詳細設定	<table><tr><td>製品名</td><td>本製品の本体名称です。 (初期値:「WAB」 + 有線 LAN の MAC アドレス) この名称が、転送ログ (syslog) などで使用されます。 変更する場合は、半角英数字および「-」 で 1 ～ 32 文字の範囲で設定します。 「-」 は製品名の先頭または末尾に設定できません。空欄は設定できません。</td></tr><tr><td>管理プロトコル</td><td>本製品の設定画面で使用する設定インターフェースの有効または無効を設定します。 使用する設定インターフェースをチェックします。<table><tr><td>HTTP</td><td>Web ブラウザーから HTTP プロトコルを利用してアクセスできる設定インターフェースです。(初期値: 有効)</td></tr><tr><td>HTTPS</td><td>Web ブラウザーから HTTPS プロトコルを利用してアクセスできる設定インターフェースです。(初期値: 有効)</td></tr><tr><td>SNMP</td><td>SNMP プロトコルをサポートしたマネージャソフトからアクセスできる設定インターフェースです。(初期値: 有効) 以降の設定項目は、この設定をチェックした場合のみ有効になります。</td></tr></table></td></tr><tr><td>SNMP バージョン</td><td>SNMP プロトコルのバージョンを「v1/v2c」 または 「v3」 から選択します。 (初期値: v1/v2c) 「v1/v2c」 を選択した場合、MIB のアクセスにはコミュニティ (SNMP 取得コミュニティ、SNMP 設定コミュニティ、SNMP トラップコミュニティ) を使用します。</td></tr><tr><td>SNMP 取得コミュニティ</td><td>SNMP 「GETRequest」 コマンドのコミュニティ名です。 (初期値: public) 変更する場合は、半角英数字および記号で 6 ～ 32 文字の範囲で設定します。 「SNMP バージョン」 で 「v1/v2c」 を選択した場合のみ設定できます。</td></tr><tr><td>SNMP 設定コミュニティ</td><td>SNMP 「SETRequest」 コマンドのコミュニティ名です。 (初期値: private) 変更する場合は、半角英数字および記号で 6 ～ 32 文字の範囲で設定します。 「SNMP バージョン」 で 「v1/v2c」 を選択した場合のみ設定できます。</td></tr></table>	製品名	本製品の本体名称です。 (初期値:「WAB」 + 有線 LAN の MAC アドレス) この名称が、転送ログ (syslog) などで使用されます。 変更する場合は、半角英数字および「-」 で 1 ～ 32 文字の範囲で設定します。 「-」 は製品名の先頭または末尾に設定できません。空欄は設定できません。	管理プロトコル	本製品の設定画面で使用する設定インターフェースの有効または無効を設定します。 使用する設定インターフェースをチェックします。 <table><tr><td>HTTP</td><td>Web ブラウザーから HTTP プロトコルを利用してアクセスできる設定インターフェースです。(初期値: 有効)</td></tr><tr><td>HTTPS</td><td>Web ブラウザーから HTTPS プロトコルを利用してアクセスできる設定インターフェースです。(初期値: 有効)</td></tr><tr><td>SNMP</td><td>SNMP プロトコルをサポートしたマネージャソフトからアクセスできる設定インターフェースです。(初期値: 有効) 以降の設定項目は、この設定をチェックした場合のみ有効になります。</td></tr></table>	HTTP	Web ブラウザーから HTTP プロトコルを利用してアクセスできる設定インターフェースです。(初期値: 有効)	HTTPS	Web ブラウザーから HTTPS プロトコルを利用してアクセスできる設定インターフェースです。(初期値: 有効)	SNMP	SNMP プロトコルをサポートしたマネージャソフトからアクセスできる設定インターフェースです。(初期値: 有効) 以降の設定項目は、この設定をチェックした場合のみ有効になります。	SNMP バージョン	SNMP プロトコルのバージョンを「v1/v2c」 または 「v3」 から選択します。 (初期値: v1/v2c) 「v1/v2c」 を選択した場合、MIB のアクセスにはコミュニティ (SNMP 取得コミュニティ、SNMP 設定コミュニティ、SNMP トラップコミュニティ) を使用します。	SNMP 取得コミュニティ	SNMP 「GETRequest」 コマンドのコミュニティ名です。 (初期値: public) 変更する場合は、半角英数字および記号で 6 ～ 32 文字の範囲で設定します。 「SNMP バージョン」 で 「v1/v2c」 を選択した場合のみ設定できます。	SNMP 設定コミュニティ	SNMP 「SETRequest」 コマンドのコミュニティ名です。 (初期値: private) 変更する場合は、半角英数字および記号で 6 ～ 32 文字の範囲で設定します。 「SNMP バージョン」 で 「v1/v2c」 を選択した場合のみ設定できます。
	製品名	本製品の本体名称です。 (初期値:「WAB」 + 有線 LAN の MAC アドレス) この名称が、転送ログ (syslog) などで使用されます。 変更する場合は、半角英数字および「-」 で 1 ～ 32 文字の範囲で設定します。 「-」 は製品名の先頭または末尾に設定できません。空欄は設定できません。															
	管理プロトコル	本製品の設定画面で使用する設定インターフェースの有効または無効を設定します。 使用する設定インターフェースをチェックします。 <table><tr><td>HTTP</td><td>Web ブラウザーから HTTP プロトコルを利用してアクセスできる設定インターフェースです。(初期値: 有効)</td></tr><tr><td>HTTPS</td><td>Web ブラウザーから HTTPS プロトコルを利用してアクセスできる設定インターフェースです。(初期値: 有効)</td></tr><tr><td>SNMP</td><td>SNMP プロトコルをサポートしたマネージャソフトからアクセスできる設定インターフェースです。(初期値: 有効) 以降の設定項目は、この設定をチェックした場合のみ有効になります。</td></tr></table>	HTTP	Web ブラウザーから HTTP プロトコルを利用してアクセスできる設定インターフェースです。(初期値: 有効)	HTTPS	Web ブラウザーから HTTPS プロトコルを利用してアクセスできる設定インターフェースです。(初期値: 有効)	SNMP	SNMP プロトコルをサポートしたマネージャソフトからアクセスできる設定インターフェースです。(初期値: 有効) 以降の設定項目は、この設定をチェックした場合のみ有効になります。									
	HTTP	Web ブラウザーから HTTP プロトコルを利用してアクセスできる設定インターフェースです。(初期値: 有効)															
	HTTPS	Web ブラウザーから HTTPS プロトコルを利用してアクセスできる設定インターフェースです。(初期値: 有効)															
	SNMP	SNMP プロトコルをサポートしたマネージャソフトからアクセスできる設定インターフェースです。(初期値: 有効) 以降の設定項目は、この設定をチェックした場合のみ有効になります。															
SNMP バージョン	SNMP プロトコルのバージョンを「v1/v2c」 または 「v3」 から選択します。 (初期値: v1/v2c) 「v1/v2c」 を選択した場合、MIB のアクセスにはコミュニティ (SNMP 取得コミュニティ、SNMP 設定コミュニティ、SNMP トラップコミュニティ) を使用します。																
SNMP 取得コミュニティ	SNMP 「GETRequest」 コマンドのコミュニティ名です。 (初期値: public) 変更する場合は、半角英数字および記号で 6 ～ 32 文字の範囲で設定します。 「SNMP バージョン」 で 「v1/v2c」 を選択した場合のみ設定できます。																
SNMP 設定コミュニティ	SNMP 「SETRequest」 コマンドのコミュニティ名です。 (初期値: private) 変更する場合は、半角英数字および記号で 6 ～ 32 文字の範囲で設定します。 「SNMP バージョン」 で 「v1/v2c」 を選択した場合のみ設定できます。																

項目	内容	
詳細設定	SNMP ユーザー名	[SNMP バージョン] に「v3」を選択した場合、入力します。 (初期値：空欄) 使用可能な文字は半角英数字、1～32文字以内です。
	SNMP 認証方式	[SNMP バージョン] に「v3」を選択した場合、「MD5」「SHA」「認証しない」から選択します。(初期値：SHA) 「認証しない」を選択した場合は、「SNMP 認証パスワード」の入力は不要です。
	SNMP 認証パスワード	SNMP v3 で通信する時の認証に利用するパスワードです。(初期値：空欄) 指定する場合は、半角英数字および記号で8～32文字の範囲で設定します。
	SNMP 暗号化タイプ	[SNMP バージョン] に「v3」を選択した場合、「DES」「暗号化しない」から選択します。(初期：DES) 「暗号化しない」を選択した場合は、「Pre-shared キー」の入力は不要です。
	Pre-shared キー	[SNMP バージョン] に「v3」を選択し、「SNMP 暗号化方式」に「DES」を選択した場合、入力します。(初期値：空欄) 使用可能な文字は半角英数字および記号で8～32文字の範囲で設定します。
	SNMP システムロケーション	SNMP [syslocation] コマンドの設定値です。 (初期値：Unknown) 変更する場合は、半角英数字および記号で1～50文字の範囲で設定します。
	SNMP トラップ	SNMP マネージャにネットワークエラーを通知するための SNMP トラップを有効または無効にします。
	SNMP トラップコミュニティ	SNMP-TRAP 要求について SNMP マネージャと検証するための SNMP トラップコミュニティ名を入力します。
	SNMP トラップマネージャ	SNMP マネージャの IP アドレスまたはサーバー名 (2～128 文字の英数字) を指定します。

重要

セキュリティ確保のため、SNMP の各コミュニティ名は初期値からの変更をおすすめします。

MEMO

ルーターモードのときに WAN 側から SNMP アクセスを有効にする場合は「ツールボックス - 管理者」設定ページにて、「SNMP バージョン」を「v3」に設定してください。「v1/v2c」設定時は SNMP アクセスを有効に設定しても、WAN 側から SNMP アクセスを行うことができません。

日時

アクセスポイントモード

ルーターモード

子機モード

本製品の内部時計を設定します。日付と時刻、NTP サーバー、タイムゾーンを設定できます。

The screenshot shows the configuration interface for the ELECOM Wireless AP for Business WAB Smart Series. The '日時' (Date and Time) section is active. It includes fields for setting the current time (year, month, day, hour, minute, second) and a button to 'PCから現在時刻を取得する' (Get current time from PC). Below this is the 'NTPタイムサーバー' (NTP Time Server) section with a checkbox for 'NTPを利用する' (Use NTP) and fields for 'サーバー名' (Server name) and '更新間隔' (Update interval). The 'タイムゾーン' (Time Zone) section has a dropdown menu for 'タイムゾーン' (Time Zone) and buttons for '適用' (Apply) and 'キャンセル' (Cancel).

項目	内容
日付と時刻の設定	現在時刻 本製品の内部時計の日付と時刻を年月日は西暦、時刻は24 時間制で設定します。設定できる範囲は、2005 年から 2037 年です。 例) 2019 年 1 月 20 日 12 時 34 分 56 秒 「PC から現在時刻を取得する」をクリックすると、設定画面にアクセスしているパソコンの時刻を取得し、設定します。 ご使用のパソコンによっては、取得できない場合があります。

設定を保存 / 復元

アクセスポイントモード

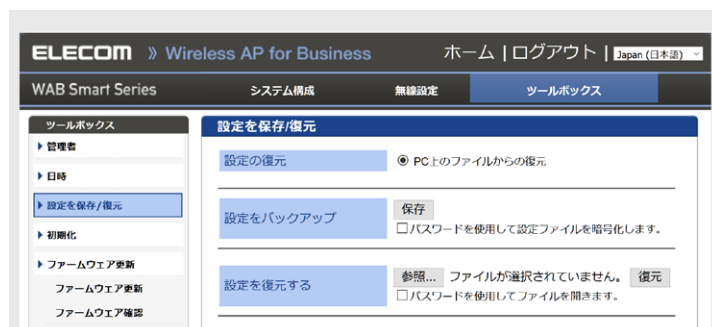
ルーターモード

子機モード

本製品の現在の設定内容を保存したり、保存した設定ファイルを本製品に復元したりします。

重要

- 設定を復元すると、IP アドレスや無線の暗号化キーなどが設定ファイルを保存したときの設定に戻るため、本製品に接続できなくなる恐れがあります。
- 設定ファイルの保存時と復元時の管理者パスワードが異なる場合、設定ファイルを復元すると管理者パスワードも復元されます。設定ファイルを保存したときの本製品の管理者パスワードを忘れないように注意してください。本製品の設定操作ができなくなります。
- 復元を実行すると、復元の失敗または成功に関わらず日時が初期化されます。



項目	内容	
設定をバックアップ	保存	クリックすると、本製品の現在の設定内容を設定ファイルとして PC 内に保存します。 設定ファイルには、本製品に設定された情報がすべて含まれます。 保存される設定ファイルは名前は次のとおりです。 「ELECOM-WAB+ (MAC アドレス) .cfg」 すでに設定ファイルが存在する場合は、「ELECOM-WAB+ (MAC アドレス) +(X).cfg」(X は数字。1 から 1 ずつ増加) となります。 例) ELECOM-WAB0090FE000006(1).cfg
	パスワードを使用して設定ファイルを暗号化します。	チェックして「保存」をクリックすると、設定ファイルにパスワードを設定します。 パスワードは、半角英数字および記号で 1 ～ 32 文字の範囲で設定します。空欄は設定できません。

項目	内容	
設定を復元する	復元するファイルを選択します。	
	参照	クリックすると、アップロードするファイルの選択画面が表示されます。パソコンに保存している設定ファイルを選択し、「開く」をクリックしてください。
	パスワードを使用してファイルを開きます。	復元する設定ファイルにパスワードを設定している場合は、チェックしてから「復元」をクリックし、保存時に設定したパスワードを入力します。
	復元	設定ファイルを読み込み、設定内容の復元を開始します。
	重要 次の設定ファイルは復元できません。 ●保存した設定ファイルのファームウェアバージョンが現在の本製品のファームウェアバージョンよりも新しい場合 ●設定ファイルが破損している場合	

初期化

アクセスポイントモード

ルーターモード

子機モード

本製品の設定を初期化します。



項目	内容
初期化	本製品のすべての設定を工場出荷時の設定に戻します。

ファームウェア更新

アクセスポイントモード

ルーターモード

子機モード

■ ファームウェア更新

本製品のファームウェアをアップデートします。ファームウェアをアップデートすると、機能の追加や不具合の改善などが実行されます。

重要

- ファームウェア更新中は、本体のLED が点滅します。LED の点滅中は絶対に本製品の電源を切らないでください。本製品の故障の原因になります。書き込みが終わると、自動的に本製品が再起動します。
- 当社が提供するファームウェアのアップデートファイル以外は使用しないでください。
- ファームウェアのアップデートを実行すると、アップデートの失敗または成功に関わらず日時が初期化されます。



項目	内容	
ファームウェアの アップデートファイル	ファームウェアのアップデートファイルを選択します。	
	参照	アップロードするファイルの選択画面が表示されます。 パソコンに保存しているアップデートファイルを選択し、「開く」をクリックしてください。
	アップデート	ファームウェアのアップデートファイルを読み込み、ファームウェアの更新を開始します。
	重要 次の場合は、ファームウェアのアップデート時にエラーになります。 ● 別機種の無線親機のアップデートファイルの場合 ● アップデートファイルが破損している場合	

■ ファームウェア確認

本製品にはエレコム・ホームページ上に最新のファームウェアが公開されたかどうか、自動的に確認を行う「新ファームウェア確認通知」機能があります。

エレコム・ホームページ上現在使用しているファームウェアのバージョンより新しいファームウェアがある場合、指定したアドレス宛に通知メールを送信します。

これにより、最新ファームウェアの適用検討を速やかに行えるようになります。

項目	内容	
新ファームウェア確認通知	新ファームウェア確認	有効を選択すると、「新ファームウェア確認通知」機能が有効になります。(初期値：無効)
確認時間	確認実施時間	最新ファームウェアの存在を確認する時間を選択します。 (自動、または 00:00 ～ 23:30 の範囲で 30 分ごと) 自動の場合は、無作為に確認時間が設定されます。 (初期値：自動)

項目	内容	
通知メール設定	宛先メールアドレス	新ファームウェアの通知メールを送付するメールアドレスを設定します。
	テストメール送信	入力したメールサーバー設定を利用して、テストメールを送信します。 メールサーバー・アドレスの設定が正しいか確認することができます。「テストメール送信」ボタンをクリックしてもメールが届かない場合は、設定内容を確認してください。
メールサーバー設定	送信メールアカウント	告知メールを送信するための SMTP サーバーへアクセスするメールアカウントを設定します。
	SMTP サーバーアドレス	メールを送信する SMTP サーバーのアドレスを設定します。
	SMTP サーバーポート	SMTP サーバーで使用する認証に合わせたポート番号を設定します。 25 : SMTP 465 : SSL 587 : TLS
	有効 認証	SMTP サーバーで認証が必要な場合、サーバーで使用する認証を「SSL」または「TLS」から選択します。 (初期値 : 無効)
	アカウント	SMTP サーバーの認証で使用するアカウント名を設定します。
	パスワード	SMTP サーバーの認証で使用するパスワードを設定します。
送信回数制限	メール送信回数	告知メールを指定します。指定した回数のメール送信を行うと、それ以上送信を行わなくなります。「0」を指定した場合は、エレコム・ホームページに公開されているファームウェアを適用するまで、継続して通知メールを送信します。(初期値 : 1)
	メール送信頻度	何日に 1 回、通知メールを送信するか、設定可能です。エレコム・ホームページに新しいファームウェアが公開されている状態の場合、「1」の場合は、毎日通知メールを送信します。「2」の場合は 1 日おき、「7」の場合は毎週 1 通の送信を行います。(初期値 : 1)

節電

アクセスポイントモード

ルーターモード

子機モード

設定した曜日および時間に節電機能を作動させます。
節電機能動作中は、LED ランプや無線をオフにすることができます。

ELECOM
Wireless AP for Business
ホーム | ログアウト | Japan (日本語)

WAB Smart Series
システム構成
無線設定
ツールボックス

ツールボックス
管理者
日時
設定を保存 / 復元
初期化
ファームウェア更新
ファームウェア更新
ファームウェア確認
節電
再起動スケジュール
LED設定
再起動
動作モード
ルーターモード

節電
有効
無効

ユーザー設定
LED設定
802.3az
無線 2.4GHz
無線 5GHz

指定した項目は、スケジュールテーブルの時間帯の間、無効化されます。

スケジュールテーブル (最大8)
曜日
時間
選択
追加
編集
選択を削除
すべてを削除
適用
キャンセル

項目	内容
節電	有効に設定すると、「スケジュールテーブル」で指定した曜日および時間に節電機能が動作します。(初期値：無効)
ユーザー設定	LED 設定 チェックすると節電機能動作時に LED ランプが消灯します。(初期値：チェックなし)
	802.3az チェックすると節電機能動作時に IEEE802.11az の設定を無効にします。(初期値：チェックなし)
	無線 2.4GHz チェックすると節電機能動作時に 2.4GHz 帯の無線を無効にします。(初期値：チェックあり)
	無線 5GHz チェックすると節電機能動作時に 5GHz 帯の無線を無効にします。(初期値：チェックあり)

92

項目	内容
スケジュール テーブル	追加 「追加」をクリックすると、スケジュール設定画面が表示されます。 スケジュールは最大 8 件まで設定できます。  節電機能を動作させる曜日をチェックし、「開始時刻」と「終了時刻」を選択します。 設定後、「適用」をクリックすると、設定が追加されます。
	選択を削除 選択しているスケジュールを削除します。
	すべてを削除 すべてのスケジュールを削除します。
	MEMO 適用後のスケジュールの変更が必要な場合は、保存した設定を削除して再度設定を行ってください。

再起動スケジュール

アクセスポイントモード

ルーターモード

子機モード

指定した曜日および時間に本製品を再起動させることができます。

項目	内容
再起動	「有効」に設定すると、「スケジュールテーブル」で指定した曜日および時間に再起動します。
スケジュール テーブル	追加 「追加」をクリックすると、スケジュール設定画面が表示されます。スケジュールは最大 8 件まで設定できます。 再起動させたい曜日をチェックし、「開始時刻」と「終了時刻」を選択します。 設定後、「適用」をクリックすると、設定が追加されます。
	選択を削除 選択しているスケジュールを削除します。
	すべてを削除 すべてのスケジュールを削除します。
	MEMO 適用後のスケジュールの変更が必要な場合は、保存した設定を削除して再度設定を行ってください。

LED 設定

アクセスポイントモード

ルーターモード

子機モード

本製品のLEDの点灯または消灯を設定します。

項目	内容
電源 LED	「オフ」 に設定すると、各 LED ランプが消灯します。
2.4GHz LED	
5GHz LED	

再起動

アクセスポイントモード

ルーターモード

子機モード

本製品を再起動します。



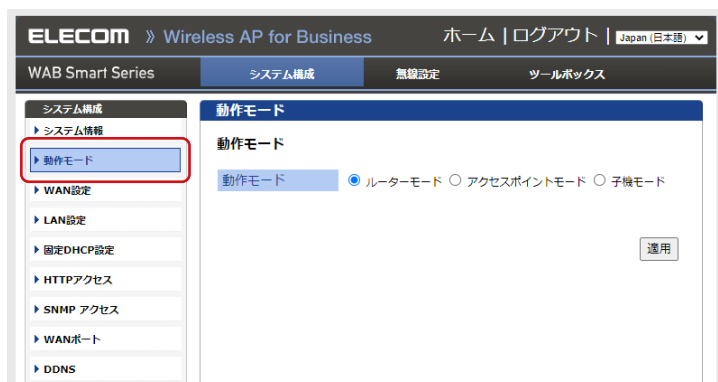
項目	内容
再起動	クリックすると、本製品を再起動します 再起動を実行すると、日時設定が初期値に戻ります。

こんなときは

動作モードを切り替える	98
ログインID / パスワードを変更する	99
インターネットにつながらない	100
無線LANがつながらない	101
端末からWPSで本製品に接続できない	102
WPSを使っても接続できない	102
PINコードで接続できない	102
IPv6 パススルー (ブリッジ) 機能を有効にする ...	103
ファームウェアを更新する	104
登録した無線子機のみアクセスを許可する	106
初期化する	109

動作モードを切り替える

- 1 本製品の設定画面を開き、「システム構成」－「動作モード」をクリックします。



- 2 切り替えたいモードを選択し、「適用」をクリックします。
本製品が再起動し、動作モードが切り替わります。

MEMO

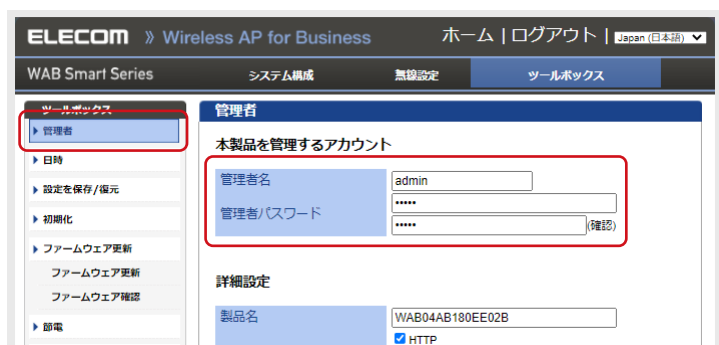
動作モードを変更した後、設定画面にアクセスできない場合は、本製品の電源を入れなおして再度設定画面にアクセスしてください。

ログインID / パスワードを変更する

重要

セキュリティ確保のため、「管理者パスワード」は初期値からの変更をおすすめします。

- 1 本製品の設定画面を開き、「ツールボックス」－「管理者」をクリックします。



- 2 「管理者名」および「管理者パスワード」を変更し、「適用」をクリックします。

管理者名	設定画面のログイン時に使用するユーザー名です。(初期値：admin) 変更する場合は、半角英数字および「-」で4～16文字の範囲で設定します。 「-」はユーザー名の先頭または末尾に設定できません。 空欄は設定できません。
管理者パスワード	設定画面のログイン時に使用するパスワードです。(初期値：admin) 変更する場合は、半角英数字および記号で6～32文字の範囲で設定します。 空欄は設定できません。 「(確認)」にも同じパスワードを入力してください。

- 3 本製品が再起動され、設定が反映されます。

インターネットにつながらない

以下のことを試してください。

① **本製品を再起動する。**

本製品からACプラグをいったん抜いた後、再度差し直します。

② **本製品を初期化/再設定する。**

本製品のリセットボタンを先の細いもので押し続けます（付属「クイックセットアップガイド」を参照）。

初期化後は、付属のクイックセットアップガイドを参照して再設定を行ってください。

また、必要に応じて初期化する前に設定を保存してください（→86 ページ）。

③ **以下を確認する。**

● **TCP/IP プロトコルが正しく設定されているかを確認する。**

〈ネットワーク〉画面でTCP/IP プロトコルが設定されているかを調べてください。見当たらない場合は、TCP/IP プロトコルを追加してください。

● **DHCP サーバー機能を使用していない場合は、IP アドレスを手動で割り当てる。**

TCP/IPのプロパティにある<IP アドレス>タブで設定します。

● **TCP/IP プロトコルの設定が正しいかを確認する。**

プロバイダーによって、IP アドレスを自動取得する場合と固定IP アドレスを指定する場合があります。

プロバイダーから提供されるマニュアルで確認のうえ、正しい設定をおこなってください。

CATVインターネットなどでは、回線事業者からIP アドレスを指定される場合があります。その場合は指示に従ってください。

● **プロバイダーから提供された情報をすべて設定したかを確認する。**

IP アドレス以外にも、識別情報の指定などが必要なことがあります。プロバイダーから提供されるマニュアルで確認のうえ、正しい設定をおこなってください。

無線LANが繋がらない

① 本製品のセキュリティ設定やMACフィルター設定は正しいですか？

セキュリティ設定は、無線LANネットワーク上にあるすべての機器で同じ設定にする必要があります。また、MACフィルターを設定していると、設定条件によっては無線LANに接続できない場合があります。

(→ MACフィルター設定 74 ページ)

② Wi-Fiのセキュリティ機能を設定後に無線LANが繋がらない。

● セキュリティ設定は、同じ無線LANネットワーク上にあるすべての機器で同じ設定になっている必要があります。設定が少しでも異なる機器はネットワークに接続することができません。

● 各セキュリティ機能で使用するパスワードや暗号などの文字列は大文字と小文字が区別されたりします。また、意味のない文字列は入力ミスが発生しやすいので特に注意して確認してください。

セキュリティ設定でのトラブルのほとんどがスペルミスや設定ミスですのでよく確認してください。

● 設定を変更した直後や設定が正しい場合は、アクセスポイントを含め、すべての機器の電源を入れ直してから接続してみてください。

端末からWPSで本製品に接続できない

WPSを使っても接続できない

WPSを使って無線LAN接続するときは、無線LAN子機がWPSに対応している必要があります。

無線LAN子機がWPSに対応していない場合は、SSIDとセキュリティキーを使用して接続してください。

※ 本製品のSSIDとセキュリティキーは本製品の裏面に貼ってある「SSID 情報シール」または「設定情報シート(初期値)」をご確認ください。

PINコードで接続できない

入力したPINコードが誤っていることがあります。再度PINコードを確認して接続してください。

繰り返し接続に失敗するようであれば、SSIDとセキュリティキーを使用して接続してください。

※ 本製品のSSIDとセキュリティキーは本製品の裏面に貼ってある「SSID 情報シール」または「設定情報シート(初期値)」をご確認ください。

IPv6 パススルー(ブリッジ)機能を有効にする

IPv4 接続の環境で IPv6 サービスをご使用になる場合は、以下の手順で「IPv6 パススルー」を有効にする必要があります。

IPv6 サービスを利用する場合でも、本製品を経由しない場合は無効のままでかまいません。(初期値：無効)

1 ルーターモードで設定画面を開きます。

2 「システム構成」－「WAN 設定」をクリックします。

The screenshot shows the configuration interface for an ELECOM Wireless AP. The left sidebar contains a menu with 'システム構成' (System Configuration) expanded, and 'WAN設定' (WAN Settings) selected. The main area displays the 'WAN設定' page. Under the 'WAN設定' section, there are fields for 'WANアクセスタイプ' (WAN Access Type) set to 'DHCP' and 'MTUサイズ' (MTU Size) set to '1500'. Below this is the 'DNSサーバー' (DNS Server) section with fields for 'DNS1' and 'DNS2'. The 'その他' (Other) section contains a 'MACアドレスコピー' (MAC Address Copy) button and a 'IPv6/パススルー' (IPv6/Pass Through) option. The 'IPv6/パススルー' option is currently set to '無効' (Disabled) and is highlighted with a red box. At the bottom right, there are '適用' (Apply) and 'キャンセル' (Cancel) buttons.

3 「その他」－「IPv6 パススルー」を「有効」に設定します。

4 設定が反映されたら、IPv6 サービスが利用できるか確認します。

ファームウェアを更新する

機能の充実や改良により、本製品のファームウェアをバージョンアップすることがあります。

ファームウェアを更新（アップデート）することで、本製品を最新の状態にすることができますので、新しい機能を追加したり、操作を改善することができます。

1 エレコム Web サイトからファームウェアをダウンロードします。

- ① 管理用パソコンでWebブラウザを起動し、エレコムWebサイト「<https://www.elecom.co.jp/>」に接続します。
- ② エレコムWebサイトのメニューから「ダウンロード」→「ドライバ・ユーティリティ」を選択します。



- ③ 「型番で検索」で型番 (WAB-S733MI) を入力し、検索します。



- ④ 本製品向けにダウンロードが可能な内容が表示されますので、「WAB-S733MI用ファームウェア」をクリックします。
- ⑤ 画面の説明に従ってダウンロードを開始します。
 - ダウンロード前に注意事項などがないか、ダウンロードページでご確認ください。
 - ダウンロードファイルの保存場所には、デスクトップを指定してください。

- 2 本製品の設定画面に入り、「ツールボックス」－「ファームウェア更新」をクリックします。



- 3 「ファームウェアのアップデートファイル」－「参照」をクリックし、1 でダウンロードしたファイルを選択します。

- 4 「アップデート」をクリックします。
ファームウェアの更新が開始されるので、しばらく待ちます。

重要

ファームウェア更新中は、本体のLEDが点滅します。
LEDの点滅中は絶対に本製品の電源を切らないでください。
故障の原因になります。
書き込みが終わると、自動的に本製品が再起動します。

更新が完了すると、「アップデートが完了しました。」と表示され、新しいファームウェアで動作します。

「システム情報」画面の「バージョン」の数値が最新のバージョンであれば更新されています。

登録した無線子機のみアクセスを許可する

アクセスしたい無線子機のMACアドレスをMACアドレスフィルタリングテーブルに登録すると、登録していない機器からのアクセスを拒否することができます。
2.4GHz用、5GHz用それぞれの登録テーブルが用意されています。

1 設定画面を表示し、「無線設定」－(2.4GHzまたは5GHzの)「MACフィルター」をクリックします。



2 「接続許可 MAC アドレス」欄に登録したい無線子機のMACアドレスを入力します。

- MACアドレスは、「XX:XX:XX:XX:XX:XX」のように「: (半角コロン)」で英数文字2桁ずつを区切った書式で入力してください。
「XX-XX-XX-XX-XX-XX」、「XXXXXXXXXXXX」のような、「- (ハイフン)」区切りや、区切り文字なしの書式では入力できません。
- MACアドレスを複数指定する場合は「, (カンマ)」または改行で区切って入力してください。

例)

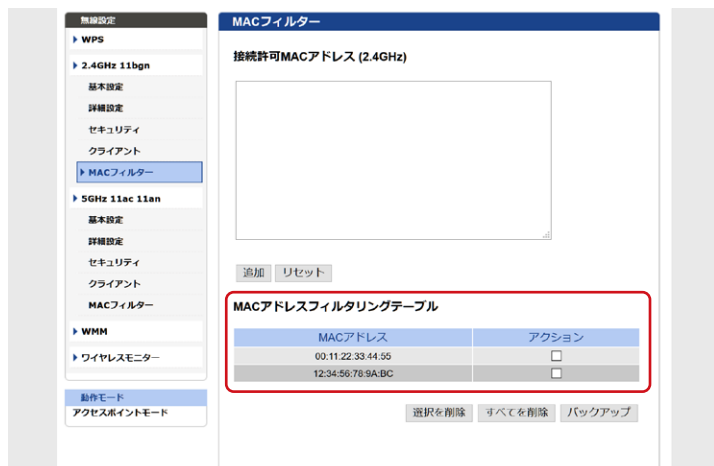
カンマ区切り	00:11:22:33:44:55,12:34:56:78:91:bc
改行区切り	00:11:22:33:44:55 12:34:56:78:91:bc

3 「追加」をクリックします。

本製品が再起動されます。

4 「MACアドレスフィルタリングテーブル」に 2 で入力したMACアドレスが追加されていることを確認します。

テーブルに追加されたMACアドレス以外の機器からのアクセスは拒否されます。



- 5 「無線設定」－(2.4GHzまたは5GHzの)「セキュリティ」をクリックし、「追加認証」を「MACアドレスフィルター」に設定します。

The screenshot shows the ELECOM Wireless AP for Business web interface. The left sidebar contains a menu with options like WPS, 2.4GHz 11bgn, 5GHz 11ac 11an, and WMM. The main area is titled 'セキュリティ' (Security) and '2.4 GHz ワイヤレスセキュリティ設定' (2.4 GHz Wireless Security Settings). The settings include SSID, Broadcast SSID, Security Function, Connection Limit, Authentication Method (WPA-PSK), WPA Type (WPA2), Cipher Type (AES), Key Update Interval (60 min), Pre-shared Key Type (Passphrase), Pre-shared Key (4948448809040), and Additional Authentication (MAC Address Filter). The 'Additional Authentication' dropdown is highlighted with a red box. At the bottom right are '適用' (Apply) and 'キャンセル' (Cancel) buttons.

MEMO

「MACアドレスフィルター」を有効にする場合は、「WPS」機能を無効にする必要があります。WPSを無効にする手順は62ページを参照してください。

初期化する

設定を初期化して、工場出荷時の状態に戻します。

重要

初期化した場合は、お客様にて設定された内容は消去されます。初期化後は再設定を行ってください。

事前に本製品の管理画面「ツールボックス」－「設定を保存/復元」から現在の設定内容を保存できます。

初期化後は同じ画面から設定を復元することができます。

(→ 86 ページ)

- 1 設定画面を表示し、「ツールボックス」－「初期化」をクリックします。



- 2 「初期化」をクリックします。

- 3 確認画面が表示されますので、「OK」をクリックします。

初期化されるまでに少し時間がかかります。本製品の電源を切らないでください。「このページを表示できません」*などの画面が表示されたら、初期化完了です。

※ お使いのブラウザにより表示は異なります。

付録編

安全上のご注意	111
使用上のご注意	114
このマニュアルについて	115
無線LANをご使用になるにあたってのご注意	116
動作環境	117
各部の名称とはたらき	118
製品の保証について	119
製品の保証とサービス	119
サポートサービスについて	120
基本仕様	121

安全上のご注意

製品を正しく安全に使用するための重要な注意事項を説明しています。必ずご使用前にこの注意事項を読み、記載事項にしたがって正しくご使用ください。

本製品は、人命にかかわる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器（医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係）への組み込みは考慮されていません。これらの機器での使用により、人身事故や財産損害が発生しても、弊社はいかなる責任も負いかねます。

■表示について

この「安全上のご注意」では以下のような表示（マークなど）を使用して、注意事項を説明しています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

	警告	この表示を無視して取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険性がある項目です。
	注意	この表示を無視して取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う危険性、もしくは物的損害を負う危険性がある項目です。
		丸に斜線のマークは何かを禁止することを意味します。丸の中には禁止する項目が絵などで表示されている場合があります。
		塗りつぶしの丸のマークは何かの行為を行わなければならないことを意味します。丸の中には行わなければならない行為が絵などで表示されている場合があります。

警告



万一、異常が発生したとき。

本体から異臭や煙が出た時は、ただちに電源を切り、販売店にご相談ください。



異物を入れないでください。

本体内部に金属類を差し込まないでください。また、水などの液体が入らないように注意してください。故障、感電、火災の原因となります。

※ 万一異物が入った場合は、ただちに電源を切り販売店にご相談ください。



落雷の恐れがあるときや雷発生時は、いったん電源を切って使用を中断してください。

感電、火災、故障の原因となります。



水気の多い場所での使用、濡れた手での取り扱いはおやめください。

感電・火災の原因となります。



ケースカバーは取り外したり分解しないでください。

ケースやカバーは絶対に取り外したり、分解したりしないでください。作業時の思わぬ接触など不具合発生時や使用中に、感電及び故障や劣化による火災の原因となる危険があります。分解の必要が生じた場合は、販売店にご相談ください。



付属または弊社が指定する仕様・型番のACアダプター、電源ケーブルや信号ケーブル以外を本製品に使わないでください。

仕様が合わないACアダプター・ケーブル等を接続すると、本製品が故障・発煙・発火する恐れがあります。



装置の上に物を置かないでください。

本製品の上に重いものや、水の入った容器類、または虫ピン、クリップなどの小さな金属類を置かないでください。故障や感電、火災の原因になります。



揮発性液体の近くの使用は避けてください。

マニキュア、ペディキュアや除光液などの揮発性液体は、装置の近くで使わないでください。装置の中に入って引火すると火災の原因になります。



同梱の部品は、本製品でのみご使用ください。

製品に同梱されているACアダプター、あるいは電源コードは、他の電子機器では使用しないでください。仕様の違いにより、火災・故障の原因となります。



注意



通風孔はふさがないでください。

過熱による火災、故障の原因となります。



高温・多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での使用・保管は避けてください。

屋外での使用は禁止します。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。



本体は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、または加わりやすい場所での使用／保管は避けてください。

故障や、接触不良による発火や火災の原因となります。



ラジオ・テレビ等の近くで使用しますと、ノイズを与える事があります。また、近くにモーター等の強い磁界を発生する装置がありますとノイズが入り、誤動作する場合があります。必ず離してご使用ください。



電源が入っている状態で本体に長時間（10 秒以上）触れないでください。

低温やけどの原因となるおそれがあります。



地震・振動・落下対策について。

地震などによる振動で装置の落下、移動、転倒あるいは窓からの飛び出しが発生し、重大な事故へと発展するおそれがあります。これを防ぐため、必要に応じて保守会社や専門業者にご相談頂くなど、地震・振動・落下対策を実施してください。

使用上のご注意

- 高温・多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での使用・保管は避けてください。
- 屋外で使用しないでください。
- 周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。
- 本体は精密な電子機器のため、衝撃や震動の加わる場所、または加わりやすい場所での使用・保管は避けてください。
- ラジオ・テレビ等の近くで使用すると、ノイズを与えることがあります。また、近くにモーター等の強い磁界を発生する装置があると、ノイズが入り、誤動作する場合があります。必ず離してご使用ください。
- 本製品の仕様および価格は、製品の改良等により予告無しに変更する場合があります。
- 本製品に付随するドライバー、ソフトウェア等を逆アセンブル、逆コンパイルまたはその他リバースエンジニアリングすること、弊社に無断でホームページ、FTPサイトに登録するなどの行為を禁止させていただきます。
- 本製品を使用した結果によるお客様のデータの消失、破損など他への影響につきましては、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。重要なデータについてはあらかじめバックアップするようにお願いいたします。

このマニュアルについて

- このマニュアルの著作権は、エレコム株式会社が所有しています。
- このマニュアルの内容の一部または全部を無断で複製／転載することを禁止させていただきます。
- このマニュアルの内容に関しては、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。
- このマニュアルの内容に関しては、万全を期しておりますが、万一ご不審な点がございましたら、弊社サポート窓口までご連絡ください。
- 本書に掲載されている商品名／社名などは、一般に商標ならびに登録商標です。

無線 LAN をご使用になるにあたってのご注意

■ 2.4GHz 帯使用の無線機器について

本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の調理器具・産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかまたは電波の発射を停止した上、弊社サポートセンターにご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社サポートセンターへお問い合わせください。

使用周波数帯域	2.4GHz
変調方式	DS-SS方式 / OFDM方式
想定干渉距離	40m以下
周波数変更の可否	全帯域を使用し、かつ「構内無線局」、「特定小電力無線局」帯域を回避可能

■ 5GHz 帯使用の無線機器について

電波法により、W52、W53は屋外での使用が禁止されています。

36 ～ 64chは、屋外で使わないでください。

動作環境

ルーター機能については、TCP/IP プロトコルを利用できる OS であれば使用できます。ただし、弊社では次の環境のみサポートしています。

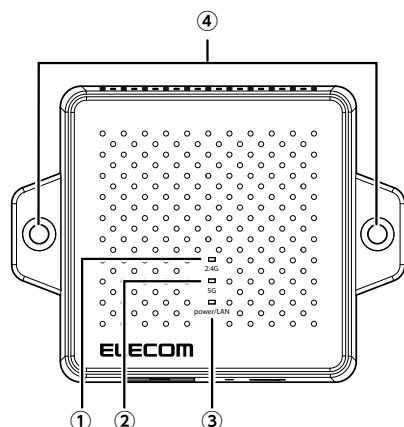
また、Web ベースの管理画面 (設定ユーティリティ) を採用しています。本製品の設定には Web ブラウザーより設定ができます。

対応機種 および OS	Windows 10/8.1/7(SP1 以降)(32bit/64bit) macOS 10.14/10.13/10.12 Mac OS X 10.11/10.10/10.9 Android 4.4 以降 iOS 10.0 以降
Web ブラウザー	Internet Explorer11 Microsoft Edge Chrome Ver.23.0 以降 Firefox Ver.17 以降 Safari Ver.5 以降

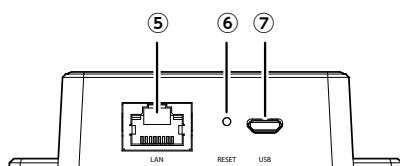
その他の対応情報などは当社製品ページでもご確認ください。

各部の名称とはたらき

正面



底面



① power/LAN ランプ (緑色)	消灯: 本製品の電源が入っていない状態です。 点灯: 本製品の電源が入った状態です。 点滅: 本製品のファームウェアを更新中です。ファームウェア更新中は本製品の電源を切らないでください。
② 5G ランプ (緑色) ※	消灯: 無線が無効な状態です。 点灯: 無線が有効な状態です。 点滅: 本製品が無線子機と通信中です。
③ 2.4G ランプ (緑色) ※	
④ 壁設置用ネジ穴	付属のネジを使用して本製品を壁に固定する場合に使用します。
⑤ LAN (WAN) ポート	<アクセスポイントモード / 子機モードの場合> スイッチングハブなどネットワーク機器を有線 LAN で接続します。 <ルーターモードの場合> 各種モデム (ONU、CTU、HGW など) の WAN (インターネット) 側機器からのケーブルを接続します。
⑥ RESET	リセットボタンを 5 秒以上押し続けて手を離すと、初期化が開始されます。初期化が完了するまで電源は切らないでください。
⑦ 電源用 USB 端子	付属の AC アダプターを接続します。本製品に付属以外の AC アダプターを接続しないようにしてください。また、本製品付属の AC アダプターは他の製品に使用しないでください。

※ 本製品が子機モードで動作している場合、親機と接続しているほうのどちらか一方の LED が点灯し、通信中の場合は点滅します。

製品の保証について

製品の保証とサービス

本製品には保証とご使用にあたっての注意について記載した文書「安全にお使いいただくために」が付いています。

●保証期間

保証期間はお買い上げの日より3年間です。保証期間を過ぎての修理は有料になります。詳細については製品情報に記載の保証規定をご確認ください。保証期間中のサービスについてのご相談は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

●保証範囲

次のような場合は、弊社は保証の責任を負いかねますのでご注意ください。

- ・ 弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障
- ・ 本製品をお使いになって生じたデータの消失、または破損
- ・ 本製品をお使いになって生じたいかなる結果および、直接的、間接的なシステム、機器およびその他の異常

詳しい保証規定につきましては、「安全にお使いいただくために」に記載の保証規定をご確認ください。

●その他のご質問などに関して

次ページ「サポートサービスについて」をお読みください。

サポートサービスについて

よくあるお問い合わせ、対応情報、マニュアルなどをインターネットでご案内しております。ご利用が可能であれば、まずご確認ください。

詳細は…

サポートポータルサイト「えれさぽ」へ



エレコム法人様サポートセンター

TEL: **0570-070-040**

【受付時間】 9:00 ～ 12:00 / 13:00 ～ 18:00 （月曜日～土曜日）

※ 祝日、夏期、年末年始特定休業日を除く

ネットワークサポートにお電話される前に

お問い合わせの前に以下の内容をご用意ください。

- ・ 弊社製品の型番
 - ・ ご質問内容 (症状、やりたいこと、お困りのこと)
- ※ 可能な限り、電話しながら操作可能な状態でご連絡ください。

日本以外でご購入されたお客様は、購入国の販売店舗へお問い合わせください。

エレコム株式会社は、日本以外の国でのご購入・ご使用による問い合わせ・サポート対応は致しかねます。また、日本語以外の言語でのサポートは致しかねます。商品交換は保証規定に沿って対応致しますが、日本以外からの商品交換は対応致しかねます。

This product is designed for use in Japan only.

A customer who purchases outside Japan should contact the local retailer in the country of purchase for enquiries. In "ELECOT CO., LTD. (Japan)", no customer support is available for enquiries about purchases or usage in/from any countries other than Japan. Also, no foreign language other than Japanese is available. Replacements will be made under stipulation of the Elecom warranty, but are not available from outside of Japan.

基本仕様

機種	WAB-S733MI					
動作モード	アクセスポイントモード（初期値） / ルーターモード / 子機モード					
LAN 設定	アクセスポイントモード時：DHCP クライアント / 静的 IP アドレス ルーターモード時：静的 IP アドレス 子機モード時：DHCP クライアント / 静的 IP アドレス					
WAN 設定	ルーターモード時：DHCP/ 固定 IP/PPPoE					
データ転送速度 （有線：規格値）	IEEE802.3：10BASE-T：最大 10Mbps IEEE802.3u：100BASE-TX：最大 100Mbps （自動判別 Auto MDI/MDI-X に対応）					
データ転送速度 （無線：規格値）	<table><tr><td>5GHz 帯</td><td>IEEE802.11ac：最大 433Mbps IEEE802.11n：最大 150Mbps IEEE802.11a：最大 54Mbps</td></tr><tr><td>2.4GHz 帯</td><td>IEEE802.11n：最大 300Mbps IEEE802.11g：最大 54Mbps IEEE802.11b：最大 11Mbps</td></tr></table>		5GHz 帯	IEEE802.11ac：最大 433Mbps IEEE802.11n：最大 150Mbps IEEE802.11a：最大 54Mbps	2.4GHz 帯	IEEE802.11n：最大 300Mbps IEEE802.11g：最大 54Mbps IEEE802.11b：最大 11Mbps
5GHz 帯	IEEE802.11ac：最大 433Mbps IEEE802.11n：最大 150Mbps IEEE802.11a：最大 54Mbps					
2.4GHz 帯	IEEE802.11n：最大 300Mbps IEEE802.11g：最大 54Mbps IEEE802.11b：最大 11Mbps					
電源	DC5V 1.5A（microB）					
消費電力（最大）	約 5.8W					
重量	約 90g（本体のみ）					
動作環境条件	温度：0 ～ 40℃、湿度：10 ～ 90%（結露なきこと）					
保管環境条件	温度：－20 ～ 60℃、湿度：95%以下（結露なきこと）					
外形寸法	ネジ固定部除く：幅 70 × 奥行 70 × 高さ 23.5（mm） ネジ固定部含む：幅 93 × 奥行 70 × 高さ 23.5（mm）					
取得規格	VCCI ClassB/TELEC/JATE/RoHS					



無線アクセスポイント
WAB-S733MI ユーザーズマニュアル

発行 エレコム株式会社